

池崎 忠孝君 綾川 武治君

川村保太郎君 藏原 敏捷君

同日委員岡本實太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ林平馬君ヲ議長ニ於テ選定セリ

五月十八日昭和九年度第一豫備金支出ノ件

(承諾ヲ求ムル件)、昭和九年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、昭和九年度特別會計豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、昭和九年度滿洲事件第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、自昭和十年四月至昭和十年十二月

昭和十年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、自昭和十年四月至昭和十年十二月昭和十年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)及自昭和十年四月昭和十年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

海軍大臣 永野 修身君

陸軍大臣伯爵 寺内 壽一君

大藏大臣 馬場 銚一君

拓務大臣 永田秀次郎君

商工大臣 小川郷太郎君

出席政府委員左ノ如シ

對滿事務局次長 青木 一男君

關東局事務官 高瀬 武寧君
大藏政務次官 中島彌團次君

大藏參與官 丹下茂十郎君

大藏省主計局長 賀屋 興宣君

大藏省主稅局長 山田 龍雄君

大藏省理財局長 廣瀬 豐作君

大藏省銀行局長 和田 正彦君

大藏省外國爲替管理部長 荒川 昌二君

大藏書記官 江口 順一君

大藏書記官 深田 養一君

大藏書記官 菅村道太郎君

大藏書記官 入江 昂君

大藏書記官 谷口 恒二君

大藏書記官 松隈 秀雄君

預金部長 金子 隆三君

營繕管財局理事 關原 忠三君

專賣局長官 荒井誠一郎君

陸軍主計總監 平手勘次郎君

商工省鑛山局長 小島 新一君

拓務省拓務局長 高山 三平君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十一年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和十一年勅令第七號(災害善後ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和十一年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ニ屬スル資金ノ繰替使用等

ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

昭和九年法律第七號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル件)(政府提出)

對支文化事業特別會計法中改正法律案(政府提出)

製鐵業獎勵法中改正法律案(政府提出)

○金光委員長 是ヨリ開會致シマス、日程第六ノ對支文化事業特別會計法中改正法律案マデテ上程致シマシテ、前會ニ引續イテ國務大臣ニ對スル質問ヲ繼續致シマス——石坂君

○石坂委員 私ハ大藏大臣ニ二三簡單ニ質問ヲ致シタイト思ヒマス、實ハ途中カラ入リマシタノデ、他ノ方々ノ質疑ト重複シテハ相成ラスト考ヘマシテ、速記録ヲ能ク調べテ見マシタノデアリマスガ、本委員會ノ速記録ハ第一回分シカ手ニ入ッテ居ラヌノデアリマス、萬一重複スルヤウナコトガアリマシタラバ、ドウゾ委員長カラ注意ヲ願ヘレバ、其實問ニ觸レナイコトニ致シマス、先ヅ私ハ此第十四號ヲ以テ提案サレテ居リマス昭和十一年度一般會計歲出ノ財源

ニ充ツル爲特別會計ニ屬スル資金ノ繰替使用等ニ關スル法律案、之ニ付テ二三伺ッテ見タイト思ヒマス、續イテ赤字公債ノ法律案ニ付テ一言觸レテ見タイト思フノデアリマス、此特別會計ヨリ資金ヲ繰入レルコトハ既往ニ於テ非常時ノ場合、即チ戰時、事變ニ於ケル場合、其他ノ別ナク、斯様ナ特例ヲ開カレタコトガ、既往ニ於テ其前例ガアリマセウカドウカ、其點ヲ伺ヒタイ

○馬場國務大臣 先例ハ一二アリマス

○石坂委員 或ハ消極的ニ減債基金ノ繰入ヲ中止スルトカ、或ハ又鐵道ノ減債基金ヲ入レルト云フヤウナコトガアツタカモ知レマセヌガ、斯ノ如ク外地特別會計其他ヨリ、一般的ニ繰入レラレタト云フヤウナコトガゴザイマスノデアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイ

○馬場國務大臣 外地カラノ繰入ハ先例ハナイヤウデアリマス、資金ノ繰替ノ例ハ一二アルヤウデアリマス

○石坂委員 其繰替ヘラレタ資金ハ、後ニ至ッテソレヲ戻入レニナッテ居リマセウカ、其點ヲ伺ヒタイ

○馬場國務大臣 戻シ入レニナッテ居ル例モアリ、ナラザル例モアルサウデアリマス

○石坂委員

只今マデノ御答ニ依リマシテ、私ノ考ヘテ居ルコトト符合致スノデアリマス、併シ總ジテ斯ノ如ク特別會計ノ資金ヲ一般會計ニ入レルト云フコトハ、容易ニ行ハルベキモノデナイト考ヘルノデアリマスルガ、豫算總會ノ結果ニ依ッテ、川崎豫算委員長カラ本會ニ於テ紹介セラレマシタ如ク、昭和十一年度ノ公債發行額ハ、前年度ニ比シテ約六千七百圓バカリ減ニナッテ居ルト云フコトデアリマスルケレドモ、併シ本法案ニ依リマスルト、千七百五十萬圓モ、ヤハリ他ノ特別會計ニ對スル繰替デアリマスルケレドモ、後日之ヲ繰入レラレルト云フコトニ付テハ、ヤハリ一緒ニ——是ハ一般會計カラ見マスルト云フト、借入金ヲシタト云フコトニ相成ルト考ヘマス、デアリマスルカラ、公債發行額モ總額カラ眺メマス、是等ヲモ加ヘナケレバナラヌト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、サウシテ此事柄ガ決マリマシタコトハ、此表面カラ見マスルト、餘リ重ク見ル必要ハナイヤウデアリマスルケレドモ、當時ノ事情ヲ考ヘテ見マスルト、非常ナ重大問題ガ伏在シテ居ッタカノ如ク、吾々ハ當時ノ新聞等ニ依ッテ報道ヲ受ケテ居ルノデアリマス、當時大藏大臣ノ公債漸減ノ方則ヲ嚴守セラルル結

果、又一面新規要求ヲ固執セラルル所ノ軍部方面トノ間ニ、相當ノ金ノ開キガ起ツテ、ソレガ段々讓歩シタケレドモ、最後ニ於テ二千萬圓程度ノ不足ガ起ツタ、ソレヲ埋合セルガ爲ニ、鐵道大臣ナドハ周章狼狽措ク所ヲ知ラズ、殆ド全國ノ「チンドン」屋ヲ總動員シテ騒ギ立テル位ニ騒ガレ、或ハ遞信大臣、或ハ拓務大臣等ヲ語リ合ッテ、各特別會計ニ有ル所ノ殘金ヲ寄セ集メテ、千七百五十萬圓ヲ用意ヲ致シ、更ニ製鐵會社ノ配當金ノ中二百七十萬圓ヲ此方面ニ充テテ、アトノ足ラヌ十萬圓ハ大藏省ノ中カラ持ッテ來ルト云フ、所謂内閣ノ危機ヲ救ウタ所ノヤリ方ト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、

考ヘマス、此法案ノ提出モ亦已ムヲ得ナカッタカモ存ジマセヌケレドモ、萬事財政ノ根本ヲ立直スト云フ立前カラ見マスルト、現大藏大臣ガ何ガ故ニ此案ヲ踏襲サレタカ、其點ニ付テ私共ハ洵ニ諒解ニ苦シムノデアリマス、私ハ大藏大臣ヲ前ニ置イテ斯様ナコトヲ申スノハ、甚ダ不遜カモ存ジマセヌケレドモ、自分ノ考ヘル所ヲ赤裸々ニ申上ゲマシテ、御明答ヲ得タイノデアリマス

十一年度ニ關スル限りハ、既ニソレト定マツテ居リマス計畫ヲ一應ハ踏襲致シテ參テ、十二年度カラ根本的ニ再檢討ヲシテ、適當ナル計畫ヲ立テタイト云フ趣旨カラ踏襲致シタ譯デアリマス、只今ノ御非難ハ御非難トシテ承ッテ置キマスガ、私ノ踏襲シマシタ考ハ左様ナ趣旨デアアルノデアリマス

○馬場國務大臣

只今ノ御批評ハ一應御尤デアリマスルガ、私ガ其儘踏襲致シマシタノハ、何分ニモ昭和十二年度以降ニ付キマシテハ、歳出ノ見透シヲ付ケテ、之ニ對應スル的確ナ財政計畫ヲ立テタイ、ソレニハ先般來申上ゲテ居リマス通り、有ユル檢討ヲ經マシテ、經常財源ヲ殖ヤシテ、サウシテ進シテ行キタイト云フ考ヲ、十二年度以降ニハ考ヘテ居リマスルケレドモ、十一年度ノ豫算ニ付キマシテハ、既ニ歳出モソレゾレ決マツテ居リ、大體ソレヲ踏襲致サナケレバナラヌト致シマス、此際ニ折角出來テ居ル計畫ヲ壞シマシテ、唯漠然ト公債ノ漸減ハ拋棄シテモ宜イト云フヤウナ意味ニ、十一年度カラ計畫ヲ立テルト云フコトハ、甚ダ面白クナイノデ、私ト致シマシテハ、

若シ公債漸減主義ニ餘リ固執セラレナイデ、新規要求ヲ已ムヲ得ズ軍部ノ言フガ如ク認メルモノト致シマスナラバ、ソコニ相當ノ方法モアツタデアリマセウ、ソレデ此法律案ヲ出サレナケレバナラナイ事情ニ立至ツタト云フコトハ、全ク財政上ノ姑息彌縫ノ結果ト私共ハ考ヘルノデアリマス、岡田内閣ニ於テ此法案ヲ出サレタコトヲ、現大藏大臣ハ其儘踏襲シテ出サレタト云フコトハ、如何ニモ私共ハ其點ニ付テ、餘リ岡田内閣ノモノハ、追加豫算其他ノ方面ニ於キマシテモ、唯其儘出サレタト云フコトカラ

只今ノ大藏大臣ノ御所懷ヲ伺ヒマシテ一應諒承スル次第デアリマス、所デ私共ノ考ヘル所ニ依リマス、特別會計ヲ設ケテアル理由ハ、是ニハ相當ノ沿革ト、財政上ノ深キ根據ニ依ッテ、ソレト立テラレテアルノデアリマス、特別會計ニ於テソレト皆安心シテ其仕事ヲシ得ルヤウニ、其歲計ノ範圍ニ於テ計畫方順調ニ行クヤウニ、國家ハ仕向ケテ居ルモノト吾々ハ考ヘルノデアリマス、吾々ノ屬シテ居リマス政黨ニ於キマシテハ、兵農兩全主義ヲ唱ヘテ居リマスガ、國防上已ムヲ得ザル所ノ歳出ヲ吝ムモノデハナイケレドモ、一國ノ産業ノ開發ニ對シマシテハ、又國防充實ニ相當シタ所ノ相應ハシイ仕事ヲセナケレバナラヌ、能ク本案ニ付テ檢討致シテ見マスルト、通信事業費ノ如キ、或ハ我國ノ交通政策上、又鐵道ニ付キマシテモ、我國ノ産業上最モ重大ナル役割ヲ擔任シテ居ルモノ

○石坂委員

只今ノ大藏大臣ノ御所懷ヲ伺ヒマシテ一應諒承スル次第デアリマス、所デ私共ノ考ヘル所ニ依リマス、特別會計ヲ設ケテアル理由ハ、是ニハ相當ノ沿革ト、財政上ノ深キ根據ニ依ッテ、ソレト立テラレテアルノデアリマス、特別會計ニ於テソレト皆安心シテ其仕事ヲシ得ルヤウニ、其歲計ノ範圍ニ於テ計畫方順調ニ行クヤウニ、國家ハ仕向ケテ居ルモノト吾々ハ考ヘルノデアリマス、吾々ノ屬シテ居リマス政黨ニ於キマシテハ、兵農兩全主義ヲ唱ヘテ居リマスガ、國防上已ムヲ得ザル所ノ歳出ヲ吝ムモノデハナイケレドモ、一國ノ産業ノ開發ニ對シマシテハ、又國防充實ニ相當シタ所ノ相應ハシイ仕事ヲセナケレバナラヌ、能ク本案ニ付テ檢討致シテ見マスルト、通信事業費ノ如キ、或ハ我國ノ交通政策上、又鐵道ニ付キマシテモ、我國ノ産業上最モ重大ナル役割ヲ擔任シテ居ルモノ

只今ノ大藏大臣ノ御所懷ヲ伺ヒマシテ一應諒承スル次第デアリマス、所デ私共ノ考ヘル所ニ依リマス、特別會計ヲ設ケテアル理由ハ、是ニハ相當ノ沿革ト、財政上ノ深キ根據ニ依ッテ、ソレト立テラレテアルノデアリマス、特別會計ニ於テソレト皆安心シテ其仕事ヲシ得ルヤウニ、其歲計ノ範圍ニ於テ計畫方順調ニ行クヤウニ、國家ハ仕向ケテ居ルモノト吾々ハ考ヘルノデアリマス、吾々ノ屬シテ居リマス政黨ニ於キマシテハ、兵農兩全主義ヲ唱ヘテ居リマスガ、國防上已ムヲ得ザル所ノ歳出ヲ吝ムモノデハナイケレドモ、一國ノ産業ノ開發ニ對シマシテハ、又國防充實ニ相當シタ所ノ相應ハシイ仕事ヲセナケレバナラヌ、能ク本案ニ付テ檢討致シテ見マスルト、通信事業費ノ如キ、或ハ我國ノ交通政策上、又鐵道ニ付キマシテモ、我國ノ産業上最モ重大ナル役割ヲ擔任シテ居ルモノ

只今ノ大藏大臣ノ御所懷ヲ伺ヒマシテ一應諒承スル次第デアリマス、所デ私共ノ考ヘル所ニ依リマス、特別會計ヲ設ケテアル理由ハ、是ニハ相當ノ沿革ト、財政上ノ深キ根據ニ依ッテ、ソレト立テラレテアルノデアリマス、特別會計ニ於テソレト皆安心シテ其仕事ヲシ得ルヤウニ、其歲計ノ範圍ニ於テ計畫方順調ニ行クヤウニ、國家ハ仕向ケテ居ルモノト吾々ハ考ヘルノデアリマス、吾々ノ屬シテ居リマス政黨ニ於キマシテハ、兵農兩全主義ヲ唱ヘテ居リマスガ、國防上已ムヲ得ザル所ノ歳出ヲ吝ムモノデハナイケレドモ、一國ノ産業ノ開發ニ對シマシテハ、又國防充實ニ相當シタ所ノ相應ハシイ仕事ヲセナケレバナラヌ、能ク本案ニ付テ檢討致シテ見マスルト、通信事業費ノ如キ、或ハ我國ノ交通政策上、又鐵道ニ付キマシテモ、我國ノ産業上最モ重大ナル役割ヲ擔任シテ居ルモノ

只今ノ大藏大臣ノ御所懷ヲ伺ヒマシテ一應諒承スル次第デアリマス、所デ私共ノ考ヘル所ニ依リマス、特別會計ヲ設ケテアル理由ハ、是ニハ相當ノ沿革ト、財政上ノ深キ根據ニ依ッテ、ソレト立テラレテアルノデアリマス、特別會計ニ於テソレト皆安心シテ其仕事ヲシ得ルヤウニ、其歲計ノ範圍ニ於テ計畫方順調ニ行クヤウニ、國家ハ仕向ケテ居ルモノト吾々ハ考ヘルノデアリマス、吾々ノ屬シテ居リマス政黨ニ於キマシテハ、兵農兩全主義ヲ唱ヘテ居リマスガ、國防上已ムヲ得ザル所ノ歳出ヲ吝ムモノデハナイケレドモ、一國ノ産業ノ開發ニ對シマシテハ、又國防充實ニ相當シタ所ノ相應ハシイ仕事ヲセナケレバナラヌ、能ク本案ニ付テ檢討致シテ見マスルト、通信事業費ノ如キ、或ハ我國ノ交通政策上、又鐵道ニ付キマシテモ、我國ノ産業上最モ重大ナル役割ヲ擔任シテ居ルモノ

デアル、又關東局、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳、及び南洋廳ノ特別會計ニ致シマシテモ、ソレノ拓地植民ノ重大使命ヲ持ッテ

居ルノデアリマシテ、唯一時殘金ガアリマスカラ、是ハ他ノ會計ニ使ッテモ宜イト云フ

モノデハナカラウト思フ、餘ルノヲ使フト云フノハ、後日マデ行ッテ足ラナイコトニナルト云フ、一ツノ原因ヲ蒔クノデアリマス

カラ、斯ノ如キ會計ニ觸レテ、サウシテ強テ彌縫姑息ヲスルト云フコトハ、眞ニ我國

ノ財政ヲ確立スル所以デハアルマイト考ヘマス、又斯ノ如キ方法ヲ採ルノハ、所謂兵

農兩全主義ノ趣旨ニ、洵ニ牴觸スルモノト吾々ハ確信致スノデアリマス、ソコデ茲ニ

法律ノ明示スルガ如ク、本件ハ單ニ十一年度ノ新規豫算ト致シテ已ムヲ得ナイモノト

致シマスレバ、是ハ既ニ豫算モ本院ヲ通過シテ居ル今日デアリマスカラ、後ノ祭り

デ致シ方ガアリマセスガ、大藏大臣ニハ我國ノ財政上根本的立直シヲセラレル爲ニ一

般の増稅、或ハ又負擔均衡ヲ取ル爲ノ稅制整理ヲ爲サルト云フコトノ立前ヲ、御持チ

ニナッテ居ルコトデアリマスカラ、將來十二年度以後ニ於キマシテハ、斯様ナコトニ出

デラレナイコトヲ切ニ希望スル者デアリマ

スガ、大藏大臣モ此點ニ付テハ、斯様ナ姑

息ナ方法ヲ取ラナイト云フ御所信デアリマスカ、其點ヲ一應伺ッテ置キタイ

○馬場國務大臣 十二年度以降ニ付キマシテハ、私ハ各特別會計ノ收支ニ付テモ、再

檢討ヲ致シタイノデアリマス、御承知ノ通リ、特別會計ト申シマスルモノハ、本來ハ

國家ノ同ジ會計デアリマスノヲ、或ル事情、或ル必要ト云フコトカラ、特別會計ニ致シ

テ居ルノデアリマスカラ、國家全體ノ均衡ヲ得テ發達ヲ圖ッテ行カウト云フ上カラ、特

別會計ト云フモノガ、場合ニ依ルト其方面ニノ剩餘ヲ生ジテ、一般會計ノ發達ヲ阻

害シテ居ルト云フコトハ無キニシモ非ズデアリマス、又今日デハ可ナリ外地ノ經濟情

勢ガ割合ニ能クナッテ居リマシテ、先ヅ今日ノ施設ヲ致シテ行クニ於テモ、相當ノ剩餘

ヲ生ズルト云フ事情ニアリ、又經濟上ノ負擔力モ相當ニ高マッテ居ル事情モアルノデ

アリマスカラ、私ハ此際内地ノ會計ガ洵ニ苦ンデ、必要ナルコトマデモ施設ガ出來ナ

イ、所謂石坂君ノ兵農兩全主義ヲ内地ニ於テ採ルガ爲ニハ、大キナ赤字公債ヲ出サナ

ケレバナラヌト云フヤウナ場合ニハ、寧ロ總テノ特別會計ヲ通ジテ再檢討ヲ致シテ、

國家ノ均整ヲ發達ヲ遂ゲテ行クト云フコトヲ考ヘルノガ、私ハ宜イノデハナカラウカ、

成程石坂君ハ、特別會計ハソレノノ目的ヲ以テ、ソレノノ收入支出ヲシテ居ルノ

デアルカラ、其金ガ餘タノヲ内地ニ使フト云フノハ宜クナイト云フコトハ、一ツノ御

說デアリマスガ、又他方カラ考ヘレバ、國家全體ノ均整ナル發達ヲ遂ゲルト云フコト

モ、大イニ考ヘルコトデナケレバナラヌ、其場合ニハ總テノ特別會計ヲ通ジマシテ、

收入ヲ増スベキモノガアレバ増シ、減スベキモノガアレバ減ラシテ、全體ノ均整ヲ保ッ

テ、殊ニ外地ニ於テノ租稅負擔ト云フモノハ、御承知ノ通り國防費ノ如キハ何等負擔

ヲシテ居ラヌト云フコトニモナッテ居ルノデアリマス、左様ナ場合ニハ、國家全體ヲ見

渡シテ或ル均整ヲ得テ歲計ヲ立テテ行クト云フコトガ、所謂兵農兩全主義ニ却テ適フ

場合モアルノデハナイカ、唯サウ云フ意味ニ於キマシテ、私ハ姑息ナコトハ致サヌデ、

寧ロ根本的ニ再檢討ヲシテ、全體ノ均齊ヲ得テ兵、農、財三全デアアルカ、二全デア

ルカハ別ト致シマシテ、即チ國防ノ充實モ出來、産業貿易ノ發展ニモナリ、國民生活ノ

安定ニモ振向ケテ行クト、斯ウ致シテ行ク方ガ宜イノデハナカラウカト私ハ考ヘマシ

テ、豫算總會ニモ左様ナ意味カラ、特別會計或ハ外地會計ニ付テモ、相當ノ檢討ヲ

スルト云フコトハ御答ヲシタ譯デアリマスカラ、只今ノ石坂君ノ御說ノヤウナ姑息的

ノコトヲ私ハ致シタクハナイノデアリマス、寧ロ稍根本的ニ總テノ特別會計ノ收支

ニ付テノ再檢討ヲ致スベキ、時機ニ來テ居ルヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、左

様ナ意味ニ於テ、私ハ單ニ内地ノ増稅ノミデナク、全體ヲ見渡シテ、相當ニ國民負擔

ノ均衡ヲ考ヘテ行ク方ガ宜イデハナカラウカ、左様ナ考デ今後研究ヲ致シタイト思ッテ

居リマス、サウ云フコトヲ御答申シタイノデアリマス

○石坂委員 根本的ノ調査トシテ、各特別會計ノコトト一般會計トノ間ニ、國家的ニ

之ヲ再檢討セラレルト云フコトニ付テハ、毫モ異存ハナイノデアリマス、唯此案ハ先

程冒頭ニ於テ述ベマシタ如ク、咄嗟ノ思付キニ足ラヌ金ヲ集メタ、恰モ定九郎ガ與市

兵衛ノ懐ロニ目掛ケテ出來心ヲ起シタト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、其證據ハ

第二項ニ於キマシテ「前項ノ規定ニ依リ繰入レタル金額ニ付テハ後日一般會計ヨリ同

額ヲ當該特別會計ニ繰入ルベシ」ト云フコトガ、規定サレテ居ルノヲ見テモ分リマス

ケレドモ、此法律案ノ後日一般會計ニ繰入レルト云フ、此後日ト云フ文字ハ、何時ノ

コトデアルカ、是ハ恰モ昔ノ證文デアッテ、五十年前ニ馬方ガ入レタ、後日ノ爲ニ仍テ件ノ如シト云フ證文ニ、相似テ居ルヤウナ法律案デアルト云フヤウナコトヲ見マスルト、如何ニモ何處ノ會計ニ金ガ剩ッテ居ルカラ出サセルト云フヤウナコトハ、洵ニ宜シクナイコトデハナイカ、斯様ナコトヲシマスルト、ソレノ特別會計ノ經理ニ當ッテ居ル者ハ、誠心誠意國費ヲ處理シテ居ルコトハ間違ガナイコトデアリマセウケレドモ、若シ金ガ剩ッテ居ル所ハ、皆取ラレテ行クト云フコトガ起リマシタナラバ、此結果或ハ一面ニ於キマシテ、此經費ノ使ヒ方ニ付テモ親切ヲ缺クト云フコトガ、人情ノ然ラシムル所デアリマス、斯ウ云フコトハ經理上カラ考ヘマシテモ、ソレハ役人トシテハソソナ不都合ナコトヲシテハイカヌト云フコトハ、是ハ理窟デハアリマスケレドモ、中々長イ年月間ニ於ケル所ノ經理官ノ心理状態ニ、非常ナ私ハ間違ガ生ジハシナイカト云フコト、斯様ニ考ヘルコトト、又外地等ニ於テ、非常ナ不便利ヲ忍ンデ、公利公益ノ下ニ斯ウ云フヤウナ計畫ヲ立テテ居ル人等モ、金ガ剩ッタ時ニ、臨時收入等ニ依ッテ一時剩ッタ其金ヲ、他ノ會計ニ振向ケルト云フコトニナリマシタナラバ、將來永遠ノ

見透シヲ付ケタ歳計ガ立ツコトハ出來ナイノデアリマス、今大藏大臣ノ述ベラレタルヤウナ御趣意カラ、一般特別兩財政ヲ通ジテノ再検討ヲセラルルト云フコトニ付テハ、何等異存ハナイ者デアリマス、ソコデ重ネテ伺ヒマスガ、其後日一般會計ヨリ繰入ト云フ、此後日ト云フ後日ハ、何時頃ノ後日デアリマセウカ、此點ニ付テ一應伺ッテ置キタイ

○馬場國務大臣

此後日ト云フコトハ、今御話ノヤウニ、何時ト云フコトヲ申上ガ兼ネル後日デアリマスガ、其中デ此資金ノ立替ラシテ居ル方ハ、是ハ元來其剩餘ト云フ譯デハナイノデアリマシテ、一時ノ立替拂ニ使ッタ金デアリマスカラ、此方ハ成ベク其方カラ早ク返スト云フコトヲ考ヘネバナラヌダラウト思ヒマスガ、サウデナイ方モ、繰入ト云フコトハ、是ハ何時ヤリ得マスカ、今日ノ場合ハヤラネバナラヌト云フコトニシテ置カナケレバナラヌトハ思ヒマスガ、果シテ何時ト云フコトハ申上ガ兼ネル譯デアリマス、殊ニ根本的ノ再検討ヲ致ス結果ハ、結局此繰入ト云フコトヲ腹ノ中ニ入レテ立テマスガ、ソコラモ一ツ能ク研究致シテ見マセスト、此二項ノ適用ヲ何時スルカト云フコトハ、尙更御答シ兼ネル譯デアリ

○石坂委員

元々現大藏大臣ノ立案セラレタコトデナイノデアリマスカラ、確實ナル御答ノ出來ナイコトハ、百モ二百モ承知シテ居リマスルガ、ドウゾ本件ニ付キマシテハ、最善ノ方法ヲ考究セラレマシテ、特別會計等ノ脅威ニナラナイヤウニ御處理ヲ願ヒタイ、此御希望ヲ附シテ、此本案ニ對スル質疑ヲ終リマスガ、重ネテ一ツ大藏大臣ニ申上ガテ置キタイコトハ、過日來本會議ニ於キマシテ、我國ノ農村ノ立直シ等ニ付テハ、是非共此災害對策ヲ完全ニシナケレバナラヌ、就テハ山ヲ治メ、河ヲ治ムルト云フコトガ最モ必要デアアル、斯様ナ質問ヲ同僚ノ助川君カラ致サレマシテ、農林大臣、内務大臣ハソレノ同感ノ旨ヲ答ヘテ居ラレルノデアリマス、併シ農林大臣、内務大臣ガ如何ニ同意セラレマシテモ、是ハ金ヲ持ッテ居ラレル所ノ大藏大臣ノ御考ヲ聽イテ置カナケレバ、其要ヲ爲サナイノデアリマス、遺憾ナガラ豫口總會ニ於テ、其點ニ付テ大藏大臣ノ御明答ガ、私共ノ讀ンダ範圍ニ於キマシテハ、御答ニナッテ居ナイノデアリマス、就テハ大藏大臣ニハ、我國ノ敵國外患ニ對スル國防ニ付テハ惜氣モナク赤字公債ヲ發行シ、又ハ其他財政上ノ遺線ヲ

○馬場國務大臣

災害ノ防止、殊ニ此河川ノ氾濫水害、是ハ相當ニ將來モ力ヲ入レテ行キタイトハ考ヘテ居リマス、唯私ハ先般豫算ノ第二分科會デ御答ヲシタ機會ガアッタノデアリマスガ、從來ノ御考ヘ方ガ、治水モ無論必要ナコトデアリ、結構デアアルノデアリマスガ、稍、治山ニ重キヲ置カレナカッタト云フ憾ガ確ニアルト考ヘテ居リマス、無論治水ト云フコトヲ致シマスレバ、其力ノ入レル所ガ、大中小ノ河川トシテ堤防ヲ造ルトカ、河底ヲ深クスルトカト云フヤウナコトニ力ヲ拂ッテ居リマスガ、肝腎ナ源ヲ治メルト云フコトニ力ガ入ッテ居ラヌ、而シテ是ハ實ハ山ノ中、極クノ僻村、山村

ニ付テノ施設デアリマスガ、同じ治水ヲ致シマシテモ、其方面ニモット力ヲ入レテ、源ヲ治メルト云フコトニ努メネバナラヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、併シサレバトテ河川ノ治水ヲ忽セニスルト云フ趣旨デハアリマセヌガ、是ハ全般ノ財政計畫ヲ立テマス上ニハ、私トシテハ相當ニ考ヘテ行キタイ、確ニ災害防止ノ政策ト云フモノハ、之ヲ忘ルガ爲ニ多大ノ損害ヲ國民ガ蒙ッテ、所謂生活ノ脅威ヲ感ジ、財産ヲ失フ、其災害救済ノ爲ニ金ヲ出スト云フコトデハ、却テ國家ノ經濟上、財政上ノ損モ大キイノデアリマスカラ、此方面ニ付テハ相當ニ頭ヲ注イデ行キタイト云フコトヲ申添ヘテ置キマス

○石坂委員 只今ノ御答ニ依リマシテ私共満足ヲスル者デアリマス、大藏大臣ハ多年農村ニ對スル金融事業ニ携ッテ居ラレタ方デ、農村ノ事情ヲ能ク御存ジノコトト考ヘマスガ、我國ニ於ケル治水、治山ノ費用ハ、洵ニ姑息ニ流レテ居リマスルガ爲ニ、ソコノ方面ニ注ガレテ居ル所ノ經費ガ十分ニ利用サレズシテ、年々歳々災害ノ爲ニ破壊ヲサレテ、不用ナ金額ガ或ハ三千万圓トカ五千万圓トカ云フヤウニ、國家ノ支出ヲ遊バシテ居ルノデアリマス、此事ヲ考ヘマスル

ト、治山及ビ治水ニ對シテ思切ッテ計畫ヲ立テテ、ソレヲ速ニ實行スルト云フコトハ、洵ニ得策デハナイカト考ヘル次第デアリマス、此點ニ付テ今後ノ財政計畫ヲ御立テニ御希望ヲ附シマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○金光委員長 木村君

○木村委員 私ハ赤字公債ニ付キマシテ、極ク簡單ニ御伺ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、赤字公債ノ發行額ハ、昭和八年ガ一番多クテ六億五千九百餘萬圓、ソレカラ漸次減少致シマシテ、十一年度ガ五億千五百餘萬圓、斯ウ云フコトニナッテ居リマスガ、先般來大藏大臣ノ御意見ヲ拜聽致シテ居リマスルト、此公債漸減主義ハ必シモ守レナイカモ知レナイ、斯ウ云フ御意見ヲ御發表ニナリマシタ、ソコデ此公債漸減主義ト云フ鐵則ガ撤廢セラレルト云フコトデアリマスルト、今日我國ノ情勢カラ考ヘマシテ、公債漸増主義、斯ウ云フコトニ事實上ナリハシナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、此點ニ付キマシテ大藏大臣ハドウ御考デアリマスカ、ソレカラソレニ關聯致シマシテ、公債ガ増スト云フコトニナリマスルト、今後五六年間ニ於テ、日本ノ公債消化力ト云フ點カラ考ヘテ、如何ニ増シマシテモヤハリ

五億圓臺、或ハ六億圓臺ニ止ルベキモノデハナカラウカト私ハ想像致シマスガ、其點ニ付テ大藏大臣ハドウ御考デアリマスカ、御伺ヲ致シタイトデアリマス

○馬場國務大臣 私ハ公債漸減主義ニハ必シモ拘束サレナイト云フ趣旨ヲ申シテ居リマスノデ、漸増主義ヲ執ラウト云フ意味デハナイノデアリマス、即チ言葉ヲ換ヘテ申上ゲレバ、國家ノ爲ニ是非トモ必要デアリ、而シテソレガ將來ノ自然增收ヲ伴ハセルト云フヤウナ效果ガアル、例ヘバ産業貿易ノ進展ノ爲ニ金ヲ使フ、或ハ國民ノ非常ナ生活不安ヲ感ジテ居ルモノヲ、國民生活ノ安定ヲ期スルト云フ意味デ、或ル程度ニ金ヲ使フト云フコトガアル爲ニ、ココ二年三年乃至數年間、假ニ多少赤字公債ナリ何ナリガ殖エマシテモ、ソレハ將來ノ財政上、經濟上宜シイト云フ結果ヲ見得ルヤウナコトデアリマスルナラバ、公債ノ發行ハ一時殖エテモ宜イ、斯ウ云フ趣旨カラ申ソデ、公債ノ漸増ヲ來スト云フ考ヘ方カラ申上ゲテ居ル譯デハナイノデアリマス、ソレカラ赤字公債發行ノ限度ト云フモノニ付テハ、非常ニ難カシイ問題デアリマスルガ、今申上ゲタヤウナ趣旨ニ於テ、多少公債ノ發行額ハ殖エマシテモ、先般モ豫算總會デ申上

ゲタコトガアルノデアリマスガ、大體今日ノ場合ニ於テモ、既ニ赤字公債ハ五億千何百万圓デアリマスガ、其他ニ特別會計ノ事業的ノ公債モアルノデアリマス、ソレ等ヲ合セマス、約六億近イモノニナリマセウカ、今日ノ場合ニ於テモ、其他ニ滿洲事件ノ公債モアリマス、サウ致シマス、ソレマデ加ヘマス、總體デ七億七八千萬圓ニナリマス、是ガ消化ニ差支ヘルヤウナコトハ無論ナイト考ヘマス、又是ガ多少増シマシテモ、先ヅ今日ノ場合我國ニ於テハ十億位ナ見當マデハ、必シモ公債消化ト云フコトガ行ハレナイ、消化ニ非常ニ不都合ヲ來ス、斯ウ云フヤウナコトハナイト、色々ノ基礎カラ推算ヲ致シマシテ、左様ナ考ヲ持ッテ居リマスノデアリマス

○木村委員 只今ノ大藏大臣ノ御答ハ私非常ニ満足スル所デアリマス、全然吾々ノ考ト一致スル所デアリマス、必要ナコトニハ殊ニ農村ノ振興或ハ中小商工業ノ救済振興ト云フコトニ付キマシテ、國民生活ノ安定ノ爲ニハ、赤字公債モ或點ニ於テ出ス必要モアラウ、斯ウ云フ事柄ニ對シマシテハ全然贊成デアリマス、又大體此數年間八十億程度マデハ公債ノ發行モ差支ナカラウ、斯ウ云フ御答辯ニ依リマシテ、赤字公債ノ限

度ト云フコトモ、大藏大臣ガ御考ニナッテ居ル所ハ想像ガ付クノデアリマスルカラ、私ハ今ノ御答辯ニ對シテハ能ク諒解ヲ致シマシタ、ソレカラ只今公債漸減主義ニ必シモ拘束サレナイ、斯ウ云フ御考デアリマスルト、私ノ心配致シマスルノハ、只今御述ニナッテヤウナコトニ御努力ハナサレマセウ、國民生活ノ安定ノ爲ニ御努力ハナサルノデアリマセウケレドモ、國防費ガ年々増加ノ傾向ヲ迎リハシナイカ、益々軍事費偏重ノ弊ニ陥リハシナイカト云フコトガ心配デアリマスルガ、其點ハ如何デアリマセウカ

○馬場國務大臣 國防費ノ將來ガドウナルカト云フコトニ付テハ、先達テ陸海軍大臣ガ極ク抽象的ニ述ベラレテ居ルヤウデアリマス、今後はガドウナルカト云フコトニ付テハ、私モ將來ヲマダハッキリ擱ンデ居リマセヌノデアリマス、併シ相當額ノ増加ヲ見

テデアラウト窃ニ想像ハ致シテ居リマス、其場合ニ國防費偏重豫算ト云フヤウナコトニナラナイヤウニシタイト云フノガ、私ノ進ンデ行ク信念デアリマス、併シドノ程度ニナッテラ、國防費ノ偏重デアルカドウカト云フコトニナルト、是ハ中々難カシイノデアリマス、此點ニ付テハ今後私ノ十分一ツ努メテ行キタイ點ナンデアリマス、今ノア

ナタノ御話ノアリマシタヤウナ、國防費偏重豫算ニナリタクタイト云フコトニ付テハ、私モ同様ノ考ハ持ッテ居ルノデアリマス

○木村委員 今ノ國防費偏重ニ成ベクナラヌヤウニシテ、殊ニ國民生活安定ノ爲ニ力ヲ盡シタイト云フ、此大藏大臣ノ御考ニ對シマシテ、私ハ洵ニ敬意ヲ表スル次第デアリマス、十分ナル御努力ヲ一ツ御願致シタイト思ヒマス、其點ガ大藏大臣ニ國民ノ期待スル最モ大キナ點デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、次ニ大藏大臣ハ躍進途上ニアル我ガ國勢ノ現状カラ見テ、相當多額ノ赤字公債ハ存續シテ宜シイト云フコトヲ御述ベ

ニナッテ居ル、ソレト同時ニ普通歳入ノ増加ヲ圖ルコトガ肝要デアル、ソレニハ増稅デアルトカ、或ハ官業收入ノ増加デアルトカ、或ハ特別會計ヨリノ繰入金等ノ手段ヲ考ヘナクテハナラヌ、再檢討ヲ加ヘナクテハナラヌ、斯ウ云フコトヲ申サレテ居リマスガ、既定經費ノ整理ト云フコト、無駄ノ排除ト云フコトニ付キマシテハ、一言モ言及ヲサレテ居ナイノデアリマス、施政ノ御演說等ヲ考ヘマシテモ、毛頭其點ニ御觸レニナッテ居ナイノデアリマス、私ハ今日赤字公債ヲ以テ爲スベキ仕事ガ、國防費、産業費等非

常ニ多イ今日ニ於キマシテハ、既定經費ノ整理、無駄ノ排除ト云フコトヲ、現政府ガ高調セラルルト云フコトガ、最モ國政ニ忠實ナル所以デアアル、又國民ニ對シテ其事ヲ御示シニナラナクテハナラヌト思ヒマス、ソレニ關聯シテ、時間ガアリマセヌカラ序ニ申上ゲマスガ、既定經費ノ整理ヲ行フガ爲ニハ、大藏省ノ豫算編成ノ方法ニ一大改善ノ必要ガアルト思ヒマス、即チ今日マデ豫算編成ノヤリ方ヲ考ヘテ見マス、大藏省ノ豫算ノ査定ト云フモノハ、新規要求ニ付テノミ限ラレテ居ルノデアリマシテ、既定經費ニハ一向及ンデ居ナイ、併ナガラ既定經費ノ中ニハ、既ニ目的ヲ實際上ハ達シテ居ルノニ、其儘計上セラレテ居ル、或ハ時勢ノ要求ニ合致シナイモノモアル、款項目ノ整理ヲ此際爲サナクテハナラヌ、ソレデ

ナクテハ行政ノ目的ヲ達シナイモノガ少クナイノデアリマス、之ヲ今日マデ大藏省ガ豫算ノ査定ニ當ッテ斷行致サレマセヌガ爲ニ、徒ニ經費ノ増加ヲ來ス、年々殖エルダケデアアル、殊ニ人件費ノミ非常ニ殖エル、今回ノ追加豫算等ヲ見マシテモ、人件費ノミ徒ニ増大ヲ致シテ居ル、斯ウ言ッテ一向私ハ差支ナイト思フ、歳入補填ノ爲ニ公債ヲ發行スルヤウナ此非常財政ニ於キマシテ

ハ、特ニ此既定經費ノ整理、無駄ノ排除ト云フコトニ最モ力ヲ盡サレナクテハナラヌ、庶政一新ノ初メハ先ヅ茲ニ在リト私ハ考ヘルノデアリマスガ、大藏大臣ハ其點ニ付テ如何ナル御考デアリマスカ

○馬場國務大臣 ソレハ勿論ノ事デアアルト私ハ思フノデアリマス、成程大藏省デハ新規要求ニ對シテ大變力ヲ注イデ、既定ノモノニ付テハ力ヲ注ガヌヤウニ見エルカモ知レマセヌガ、實ハ從來新規要求ヲ致シマシタ多額ノモノガアルモノヲ、大體ハ既定經費ノ中カラ遺繰ッテサウ云フ仕事ヲシテ行ケ、斯ウ云フコトデ始終折衝ヲ致シテ居ルヤウニ私ハ承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、例ヘバ普通ナラバ非常ニ仕事ガ殖エテ、モット人件費物件費ヲ増サナケレバナラヌヤツヲ、既定經費ノ中デ遺繰ッテ仕事ヲシ

ロ、若クハ既定經費カラ財源ヲ持ッテ來ナケレバ、新規ノ仕事モヤラセナイ、斯ウ云フヤウナヤリ方ヲ實行ハシテ居ルヤウナ譯デアリマス、或ハソレニ對シテノ見解ガ多少強イトカ緩イトカ云フコトハ、ソレハ御批評ハアラウト思ヒマスガ、大藏省ノヤリ方ハサウ云フ風ニ致シテ居ルヤウデアリマス、私モ無論無駄排除、出來ルダケ從來ノ經費ノ中ニ、若シ苟モ若干ノ金デモ、ソコ

第六類第七號 昭和十一年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案委員會議錄 第五回 昭和十一年五月十八日

七

ニ既ニ必要ノナキニ至ツタヤウナ經費ガアルナラバ、之ヲ削ルト云フコトニスルコト

ハ勿論デアリマス、計算ノ上デ削ラナケレ

バ、新規ノ要求ノモノヲソレデ賄ハセル、

斯ウ云フコトハ是ハ當然ノ事ニ自分ハ考ヘ

テ居リマシタノデ、強ヒテ其點ハ力説致シ

マセヌデシタガ、今ノ木村君ノ御説ハ至極

御デデアリマス、官吏トシテハ、役所トシ

テハサウ努メナケレバナラスコトデアリマ

シテ、是ハ私ハ非常ニ當然ノ事ノヤウニ考

ヘマシタノデアリマスガ、今後私ハ其方面

ニ向ッテウント力ヲ入レタイト思ヒマス、ソ

レハ私此處デ申スノモヲカシイノデアリマ

スガ、大藏省ニ從來ノ如キ人手ノ増サレタ、

殊ニ主計局邊リニ事務官等ノ増加致シマス

ル其事ニ賛成ヲ致シマシタ當時ノ考ハ、寧

ロ新規要求ニ對スル査定ト云フヨリモ、現

在ノ豫算ヲドウ使ッテ居ルカ、無駄ガアリハ

シナイカ、餘計ナモノガ要求サレテアリハ

シナイカ、要求セラレタモノガ本當ニ效果

的ニ使ハレテ居ルカドウカヲ檢討シツツ、

新規要求ヲ査定スルト云フガ爲ニ、實ハ人

手ヲ殖ヤシタノガ、私共ガ法制局ニ居リマ

シタ時分ノ考ヘ方デ、人手ヲ増シタノデア

リマシテ、今後ニ於テハ私ハ其點ニ付テハ

十分力ヲ盡シタイト云フコトヲ今考ヘテ居

リマス

○木村委員 今ノ大藏大臣ノ御答辯ハ、全

體ヲ通觀シテ考ヘマスト私モ諒承致シマス

ガ、併ナガラ是ハ當然ノコトデアルト思ウ

タカラ言ハナカッタ、斯ウ云フコトデアリマ

スルト、私ハ大藏大臣ノ御考ガ果シテサウ

云フ御考デアアルカドウカ、其事ガ實行出來

ルカドウカト云フコトニ、多大ノ疑念ヲ持

ツ者デアリマス、斯ウ云フ事ハ當然ノコト

デアツテ、其當然ノコトガ出來ズニ今日ニ

來ッテ居ル、又私ノ今申シマシタヤウニ、既

定經費ニ毎年々々檢討ヲ加ヘテ行クト云フ

コトハ、現在ノ主計局ノ人員ダケデハ御無

理デアルト私ハ思フ、是ハ餘程ノ事業デア

リマス、新規事業ニ付テノ査定ヨリモ、ヨ

リ一層是ハ困難ナ事業デアアル、之ヲ當然出

來ルデアラウト、斯ウ御考ヘニナルト、是

ハ大變ナ實際上間違ヲ生ズルコトデアアル、

又現在迄モヤッテ居ッタト仰シヤルケレドモ

アノ程度ノコトナラバ、私ガ此處デ一々大

藏大臣ニ御質問ヲ致ス必要ハアリマセズ、赤

字公債ヲ出シテ歲出ヲ賄ハナクチャナラス

今日ニ於キマシテハ、此既定經費ノ整理ト

云フ事ニ一大決心ヲサレテ、ソレヲ實行ノ

出來ルヤウナ手段方法ヲ御採リニナラス

方デハ、其目的ヲ達スルコトハ出來ナイノ

デアリマス、即チ既定經費、新規要求、或

ハ先程申サレマシタヤウナ一般會計、特別

會計ノ全般ニ互リマシテ、國ノ收入ハドウ

スルカ、斯ウ云フ問題ヲ餘程御考ヘニナラ

スト、唯現在ノデ出來ルダラウト云フコト

デハ、私ハ實行ガドウデアラウカト思ヒマ

スルカラ、特ニ此點ニ付キマシテハ御考慮

ヲ煩シタイト思ヒマス

○馬場國務大臣 只今ノ御希望洵ニ御尤デ

ゴザイマス、或ハ其爲ニ又人手ヲ増スヤウ

ナコトニナリマスケレドモ、ソレハ却テ増

シテモ國費ノ節約ガ出來ルノデアリマス、

來年度ニ於テハサウ云フ事ニ取計ッテ行キ

タイト考ヘテ居リマス

○金光委員長 大藏大臣ハ是カラ貴族院ノ

方ニオ出デニナルサウデスガ、倉元君カラ

極メテ簡單デアアルカラ、此機會ニ他ノ議案

ニ關スル件ノ質問ヲ許シテ呉レト云フコト

デアリマスカラ、簡單デアレバ許シマス

○倉元委員 簡單ニ御尋申上ゲマス、先日

此委員會デ大藏大臣ノ鐵ニ關スル御意見ヲ

伺ヒマシタガ、鐵國策ニ付キマシテハ、大

藏大臣ハ將來之ヲ再檢討シテ、此國策ニ付

テノ方針ヲ見直シテ見タイ、斯ウ云フヤウ

將來ドウ云フヤウニ御考ニナッテ居リマス

カ、先ヅソレヲ御伺シタイ

○馬場國務大臣 此處デ私ノ意見ヲ申上ゲ

ルコトハ差控ヘタイト思ヒマスノハ、此問

題ハ御承知ノ通り主管省ハ商工省デアリマ

シテ、商工省ニ於テモ今折角色々ノ人ヲ集

メタリシテ御研究ニナッテ居ルヤウデアリ

マス、ソコデ私大藏省トシテノ考ヲ申スコ

トハ何デアリマスガ、大體ノ考ヘ方トシテ

ハ、兎ニ角將來我國ノ鋼鐵ノ需要ト云フモ

ノハ、相當多額ニ上ルコトダラウト思ヒマ

ス、隨テ銹鋼一貫ノ作業ト云フモノハ、此

將來ノ需要ヲ見込ミマシテ、相當將來力癩

ヲ入レテ行カナケレバナラス、之ニ依ッテ一

面ニ於テハ鐵トシテノ輸入ヲ減ズル、無論

我國ノ鑛物其モノハ輸入ニ俟タナケレバナ

リマセヌケレドモ、銹鐵ナリ或ハ御承知ノ

「スクラップ」ナドハ、是ノ輸入ニ依ッテ當ニ

シテ「スチール」ヲ造ルト云フコトハ非常ナ

考物ダ、即チ銹鋼一貫作業ニ付テ、國策上

相當ニ力ヲ入レテ行カナケレバナラスデア

ラウト云フ、大體ノ考ヲ持ッテ居リマスガ、

其詳シイコトハ今後商工省ト能ク協議ヲシ

テ進ミタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○倉元委員 商工省モオ居デニナリマスカ

ラ、其事ハ商工省ニ後刻伺ヒ、尙ホ一言伺ッ

テ置キタイコトハ、今回ノ此製鐵獎勵法御改正ノ結果ハ、利益率一割以上ヲ學ゲルモノ、今迄特ニ此國策ノ爲ニ、獎勵ノ方法トシテ制定セラレマシタ法律ニ依ル免稅ノ特典ヲ、今申スヤウニ利率一割以上ヲ學ゲル所ニハ課稅ヲスル、即チ營業稅、營業收益稅、所得稅ヲ課スルト云フコトニナツタノデアリマスガ、其課稅ヲセラルルコトニ至リマシタ原因ハ、今日ノ財政窮迫ヲ救濟スル爲ニハ已ムヲ得ヌ、斯ウ云フ見地カラ御取リニナルノデアアルカ、所謂瀕レレバ藁ヲモ摺ムト云フ其趣旨デ、茲ニ幾ラカノ稅ヲ御取リニナルト云フ御趣意デアリマセウカ、其點ヲ伺テ置キタイ

○馬場國務大臣 大體ニ於テサウ云フ考ガアツトラウト思ヒマスガ、一割以上ノ收益ヲ舉ゲルト云フモノニ付キマシテハ、御承知ノ通り所得稅法ニ於テハ、超過所得稅ヲ取ラルベキヤウナ譯デアリマス、所謂保護政策ト申シマシテモ、適當ナル限度ガアツテ宜イノデハナイダラウカト云フ考カラ、勿論ソレニ依ツテ相當ナ收入ガ舉ゲラレルノデアリマスガ、考ヘ方トシテハサウ云フ點モ考慮ニ入レテ、アア云フ風ナ一割以上ノモノニ付テハ、免稅ヲシナイト云フ考ヘ方ヲ決メタモノト思ヒマス、此點ハ私モ然ルベ

キモノト思ヒマシテ、踏襲致シタノデアリマス

○倉元委員 其點ニ付テハ大藏大臣ニモウ少シ立入ツテ御尋申上ゲタイノデアリマスルケレドモ、貴族院ノ御關係デ、其程度ニシテ置キマス、他日御尋シタイト思ヒマス、主計局長ガ居ラシヤイマスカラ御尋致シマスガ、此稅額ハ如何程ニナルノデスカ

○賀屋政府委員 今御尋ノ點ハ、昭和十一年度ニ於キマシテハ二百十萬圓デゴザイマス

○金光委員長 私ヨリ商工大臣ニ御伺申上ゲマス、關東大震火災當時ニ政府カラ支出シマシタ、火災保險會社ノ助成金ニ對スル會社納付金ニ付キマシテ、商工大臣ニ御伺申シマス、是ハ此議題ニ間接ノ關係ヲ持ツモノデアリマスカラ、此機會ニ御質問申スノデアリマス、助成金ハ震災當時政府ノ政策ニ基キ強要セラレタル犠牲デアリマシテ、其結果ハ當業者ヲシテ疲弊困憊ニ陥ラシメ、殆ド致命的打撃ヲ受ケタル會社ガ數クアリマセヌ、之ニ對スル納付金ノ減免ハ多年ノ懸案トナツテ居ルノデアリマシテ、前々内閣以來、本院豫算委員會其他ノ委員會ニ於ケル質問ニ對シ、商工大臣並ニ政府委員ヨリ、會社ノ狀態ニ應ジ減免緩和方ヲ考

慮スベキ御趣旨ノ御答辯ガアリマシタガ、マダ實行ヲ見ルニ至ツテ居リマセヌ、然ルニ當業者ハ函館大火以來一層ノ困窮ニ陥リマシテ、默視スルニ忍ビザルモノガ數クアリマセヌ、殊ニ前々議會、本院ニ對シ當業者カラ提出シマシタ免除方ノ請願ガ採擇ニ相成ツテ居ル次第デモアリマスカラ、當局ニ於テ相當御考慮ニ相成ツテ然ルベキモノト考ヘラレマス、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト存ジマス

○小川國務大臣 只今ノ御質問ニ對シマシテモ能ク考慮致シマス

○松本委員 只今ノ特別會計カラ繰替使用ノ豫算ニ關聯シテ御伺致シタイ、目下樞密院ニ御諮詢ニナツテ居リマス滿洲ニ於ケル課稅權ノ讓渡デアリマスガ、滿洲國ニ移シマスル問題ニ關聯シテ、滿鐵附屬地内ニ於キマシテハ、是ト平衡ヲ保ツ爲ニ課稅ヲ致スコトニナツテ居ルヤウニ承ツテ居リマスガ、此昭和十一年度七月以降ト承ツテ居リマスガ、ソレガ歲入ノ中ニ見積ツテゴザイマス

○青木政府委員 松本サンノ御尋ノ附屬地課稅ニ依ル新ナル增收ハ、大體七十九萬圓バカリ見込マレテ居ル筈デアリマス

○松本委員 其稅ノ種類ハ、是ハ多分個人

ニ對シテハ四分ノ一、法人ニ對シテハ三分ノ一ト云フコトニナツテ居ルト思ヒマスガ、ソレガ段々遞増シテ來テ居ルト思ヒマス、其遞増シテ來タ場合ニ、一體全體下ノ位ノ收入ニナリマスガ、御示シテ願ヒタイ、此七十九萬圓ト云フノハ、多分昭和十一年度ノ半分ダケダト思ツテ居リマスガ、昭和十二年度以降ハドシナ數字ニナツテ居リマスガ、若シ今御分リガナカッタラバ御調ヲ戴イテ、午後ニデモ、事情サヘ判明スレバ宜シイノデスカラ、御知ラセテ願ヒタイ

○青木政府委員 承知致シマシタ、今關東廳ノ政府委員ヲ呼ンデ居リマスカラ、詳細ノ數字ヲ調ベタ上ニ御答致シマス

○松本委員 結構デゴザイマス、是非サウ願ヒマス

○金光委員長 今拓務大臣ヲ呼ビニ行ツテ居リマスカラ、暫時御待チ下サイ

○金光委員長 質問ヲ繼續致シマス——末次君

○末次委員 我國ノ農村ニ付キマシテハ、是ハ誰モガ能ク分ツテ居ルコトデアリマスガ、非常ニ生活ノ安定ヲ缺イテ居ル、此國民ノ生活安定ト云フコトト、人間ヲ減ラスト云フコトトハ、非常ニ關係ガアルコトト思フ、私ハ是ガ殆ド根本ヂヤナイカト思フ、

ソレド何處ニ其人間ヲ持ッテ行クカト云ウテモ、殆ド世界中移民スル所ハナイヤウナ有様デアリマスカラ、ドウシテモ是ハ滿洲ニ澤山ノ人間ヲ、少々ノ費用ガ要ッテモ早クヤルヤウニシテ戴カナケレバナラヌト云フヤウニ、思ッテ居リマスノニ、滿洲國ガ出來マシテカラ殆ド五箇年ニナリマスガ、其跡ガナイ、僅カ二千八百人位ノ移民シカ行ッテナイ、ソレカラ各個人デ行ッテ居ルノガ僅カ七八百ト云フコトデ、ドウシテ此大事ナ移民ノコトヲ何時マデモ放ッテ置クカ、是ガ私共ニハ非常ニ分ラヌ、陸軍大臣モ農村ノ生活安定ト云フコトニ付テハ、隨分御考ヘニ

ナッテ居ルト云フコトデゴザイマスガ、ドウ云フ風ニ此移民ヲナサルト云フ御考デアルカ、之ヲ一寸伺ヒタイ

○寺内國務大臣 滿洲移民ノコトニ付キマシテハ、實ハ拓務省ガ主管トシテヤッテ居リマスガ、私共モ是非之ヲ成功サセナケレバナラヌ、又集合移民モ送ラナケレバナラヌ、ソレガ國策上、國防上ニ於テモ極メテ必要デアルト云フ見地カラ、色々研究致シテ居リマシテ、漸ク今日其成功ノ曙光ガ現レテ來タト云フ所デアリマシテ、是カラ大々的ニ拓務省ト協力シテ、其發展ヲ圖リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、拓務省ニ於テ

モ其具體案ニ付テハ、相當研究シテ居ラレルコトト思ヒマス、吾々モ其協力ヲ惜シマナイ積リデアリマス

○末次委員 滿洲ノ仕事ガ非常ニ進ンデ、相當ナ勞働力ヲ要スル、今年ハドウシテモ百万人カラノ移民ヲ入レテ貰ハナケレバ、滿洲ノ仕事ハ出來ナイト云フ時ニ、去年ハ四十五万人ノ人間ヲ御送りニナッタノニ、今年ハ三十五万人ニ御減ラシニナルト云フ風ニ、幾分仕事ヲ犠牲ニシテモ人間ヲ減ラスト云フコトハ、此儘ニシテ置クト、支那人ガ相當アリ付イテ、日本人ノ移民ヲスルコトガ出來ナクナルカラ、之ヲ御減ラシニナッタコトデアラウト思フ、若シサウ云フ風ニマデ御考ヘ下サツタト云フコトデアラナラバ、私ハ此移民ヲスルニ付テモ、ヤリ方ニ依ッテハサウ澤山ノ金ガ要ルトハ思ハナイガ、少々ノ金ガ要ッテモ一年ニ十五万ヤ二十万ノ移民ヲ、送ッテ戴クコトニシナケレバ、此生活安定ヲ急ニ根本カラ直スト云フコトハ、私ハ出來ナイト思フ、僅カノ費用ヲ信用組合デ補助スルトカ、又中小工業者ノ爲ニモ小額ノ資金ヲ貸ストカ、サウ云フヤウナコトデ日本ノ生活ニ困ッテ居ルノハ、ドウシテモ急ニ直ラウトハ思ハナイ、ドウシテモ人間ヲ減ラスノガ何ト云ッテモ根本デアリマスカ

ラ、此邊ハ十分御考下サツテ、至急ニ之ヲ御運ビ願ヒ、サウシテ今度ノ議會ニハドウシテモ豫算ヲ出シテ戴クコトニシテ、急ニ運ンデ貰フヤウ御願致シマス

○寺内國務大臣 當局ト致シマシテモ出來ルダケノ努力ハ致シマスルガ、又國民トシテモ自ら進ンデ行ク氣分、氣魄ガナケレバナラヌト思フ、私ハ嘗テ滿洲ニ勤務シタコトモアリマス、又朝鮮ニ居ッタコトモアリマス、其際ニ於テ東北ノ窮狀モ知ッテ居リマシタカラ、出來ルダケハ此人ニ職ヲ與ヘテ留マラセタイト思ヒマシテ隨分努力シタノデアリマス、然ルニ全ク私ノ豫期ニ反シテ、折角職ヲ可ナリノ人ニ拵ヘテモ、衛戍地ヘチツトモ歸ッテ來テ呉レナイ、是等ハ國民ノ意氣、氣魄ニ於テ缺クル所ガアルノデハナイカ、一々オ上ノ御厄介ニナルト云フコトハ、政府モソレヲ出來ルダケハ仕向ケナケレバナリマセヌケレドモ、又國民ノ方モ能ク自ら奮發シテヤルト云フ奮發心モ大ニ發揮シテ貰ハヌト、圓滿ニハ行カヌト思ヒマス、兩々相俟ッテ是非其目的ヲ達スルヤウニシタイト考ヘマス

○末次委員 御尤モデアリマス、私トシマシテハ滿洲國ガ出來マスト同時ニ、此問題ハ一番大事ダト思ヒマシテ、滿蒙學校ヲ直

グ創立シマシテ、色々陸軍邊リトモ御相談シマシタ、殆ド金錢ノ御迷惑ハ掛ケテ居リマセヌガ、自分ノ有リモシナイ金モ相當入レテヤッテ居リマスガ、今言ハレタヤウナコトガ大分アリマス、日本ガ餘リ良過ギルト云フコトモ一ツノ理由デアリマセウガ、支那人ナドハ、チツトモ補助シテ貰フトカ何トカ云フコトナシデ、ドン／＼行ク人モアルケレドモ、日本ノ國情ガ餘リ良イカラデモアルカ知レマセヌガ、併シ滿洲移民ニ付テ

ノ當局者ノヤリ方ガ、ドウモ私ハ徹底シテ居ナイト思フ、ト云フノハ、吾々ガ行ッテ相當ノ地所ヲ見付ケテ人間ヲヤルト云ッテモ、自分ガ向フニ行クノニ一々土地ヲ調べテ見テ、自分ノ金デ以テ向フニ行クト云フ人ハ澤山アリハシマセヌ、ソレ位ナラバコッチデ働イテ何トカ食ヘルト思フ、何トシテモ向フニ行ク人ニハ、土地ヲヤラナケレバナラヌ、又北海道邊リニ移民シマシテモ、何年カ土地ヲ開ケバ其土地ハ全部ヤルト云フコトデ、相當費用ヲ出シテヤッテサハ、内地デモ行カヌノデアリマスカラ、之ヲ國策トシテドウシテモ軍事上必要デアリ、又國民ノ安定ノ爲ニ非常ニ必要デアルト云フナラバ、モウ少シ進ンデ指導ヲシテ戴カナケレバ、モウ少シ進ンデ指導ヲシテ戴カナケレバ、モウ少シ進ンデ指導ヲシテ戴カナケレ

バイカヌト思フ、今聞イテ見マシテモ、千

五百萬圓ノ金ヲ拵ヘテ、滿洲ノ移民ヲシヨウト云フコトガ、マルデ成ッテ居ラヌト思フ、ソレ等ハオ座ナリノ仕事デアル、本當ニ國民ノ安定ヲ圖ルコトハ人間ヲ減ラスコトガ根本デアルト云フナラバ、モウ少シ大キク考ヘテ、シツカリヤッテ戴キタイト思フ、第一土地ヲドウスルカト云フト、土地ハ向フノ土地ヲ日本ガ買ッテ——ソレハ今ノ會社ノヤル方法デモアリマセウガ、十年間据置イテ、十五年間デ拂フトカ、土地ノ代マデモ日本ノ移民ニ拂ハセテ移民サセルト云フコトガ、間違ッテ居ルト思フ、唯現ニ要ル金ダケハ何トカシテ出シテヤラナケレバいかス、ソレヲ日本トシテ出セヌト云フナラ、土地ダケヲ滿洲國ニ出サセテモ結構デアル、詰リ滿洲ハ日本ノ爲ニ立派ナ國ニナッタノデ、鐵道ナドモドン／＼敷ケテ來ルカラ、次第ニ土地ノ値段ガ上ル、殆ド元ノ滿洲デアッタ買手ガナイ所ノ地所モ、斯ウ云フ風ニ日本ガ援助シテヤッタ爲ニ上ッタ、其上ゲデヤッタ値段デ日本ガ買ッテ、其結果ハ結局移民シタ人間ニ其負擔ヲ掛ケルト云フコトハ、ドウモドンナモノデアラウ、私ハ是ダケ日本ガ滿洲國ガ盛ニナルコトニ力ヲ入レテ、國防モ日本ガ受持ッテ負ウテハ抱キ、抱イテハ負ウテヤルト云フコトハ間違ッテ

居ルダラウ、向フノ仕事ヲシテ良クスルノデアルカラ、土地ダケハ向フデ買ッテ、サウシテ日本ノ移民ニ成功シタラ遣ルヤウニシナケレバイカスト私ハ思フ、此邊ヲ能ク考ヘテ、私ハ豫テカラ之ヲ主張シテ居リマシガ、滿洲ノ個人ガ持ッテ居ルノデアルカラ、之ヲ取上ゲル譯ニハ行カナイト言ハレルガ、勿論ソレハ出來マセウガ、ソレヲ滿洲國ニ買ハシテ、日本ノ移民ニ土地ダケハ遣ルヤウニスルコトガ、滿洲國カラ考ヘテモ至當デアルシ、日本移民カラ考ヘテモ至當デアルト思ヒマス、僅カナ行クニ必要ナ金ダケハ拓務省ガ計算シテ居ルノデ、大體ノ入費ハ分ッテ居ルガ、大體一戸ニ付テ千五百圓カ二千圓デ行ケマセウシ、僅カナ事デスカラ日本國家デ其金ヲ負擔シナクテモ——今現ニ千圓カ幾ラカ補助シテ居リマスガ、其金ヲ政府デ出サナクテモ、土地代ヲ千五百圓將來政府デ出スヤウニナレバ、マダ移民ハ五百圓儲カル譯デアル、詰リ此邊ハ考ヘテ、土地ダケハ滿洲カラ出サセルヤウニシテ戴カナケレバナラヌト思ヒマス、其邊十分御考ヲ願ヒマス、私ハソレダケデアリマス

アリマスカラ、軍部ノ兩大臣ニ御捕ヒデ御答ヲ願ヒタイ、申スマデモナク現下ノ我が内外ヲ見マスルト、鐵ノ國策ノ遂行ニ付テハ、深ク思フ致サナケレバナラヌト考ヘル、現在ノ鐵ノ需給状態ヲ見マスルト、昨年ノ實際ハ鑛材デ三百七十五萬噸ノ需要ヲ見テ居リマス、之ニ對スル原料ノ輸入ト云フモノガ「スクラップ」デ百七十萬噸、銑鐵デ六十萬噸、合計二百三十萬噸ノ原料ヲ得テ、初メテ此需要ノ三百七十五萬噸ヲ滿タシテ居ル次第デアリマス、ソコデ然ラバ内地ノ現在ノ銑鐵ノ生産力ハドレダケカト云フト、昨年一箇年ノ生産ハ二百一十一萬噸デアリマス、ソレデアリマスカラ、之ヲ若シ製鐵ノ鐵鑛石カラ銑鐵ノ一貫作業ト云フ此理想ノ目的ヲ達スルト云フコトニ致シマスト、所要銑鐵ハ四百六十萬噸バカリ要ルノデアリマス、デスカラ差引二百五十五萬噸ト云フ銑鐵ガナケレバ、當初大正十五年ニ樹テマシタ鐵國策ヲ遂行スル所ノ方針ニ副ハヌコトニナル、現在ノ狀況ハ斯ク申ス通リデアッテ、然ラバ、將來ニ屬スルコトヲ考ヘテ見マスルト云フト、今政府デ御認可ニナッテ居ル熔鑛爐ト云フモノガ、計畫中又ハ建設中ノモノデ六基アル、是ガ完成致シマシタモノトシテモ、僅ニ、百萬噸ニ足ラナ

イ、九十四萬噸ノ生産高位シカ出來ナイ、ダカラ、是ガ完成シタ曉ヲ考ヘテ見テモ、尙ホ百六十一萬噸ノ不足ヲ生ズル、私ノ聞及ンデ居リマスル現在ノ熔鑛爐ノ建設計畫中、又ハ腹案中ト云フヤウニナッテ居ルモノガ、淺野小倉デ三百五十萬噸爐ガ一ツ、中山製鋼所デ同様ノモノガ一ツ、日鐵デ將來千噸爐ト七百噸爐、ソレカラ日本鋼管デ以テ五百噸爐ガ二基、是デ將來ヲ見マスと云フト、今ノ現狀カラ推シテ尙ホ四十五萬噸ノ不足デアル、併ナガラはハマダ計畫中デアリ、唯頭ノ中ニ描イテ居ル事業者ノ計畫デアリマスカラ、何時實現スルカハ分リマセヌ、マア差當ッテ本年ノ秋、又ハ來年ノ春頃カラ前段申シマシタ其六基ノ御認可中ノモノガ完成シテモ、百六十萬噸ノ不足ヲ見ル、斯ウ云フ現狀デアリマス、而モ此ノ鐵ノ需要ノ趨勢ヲ見マスと云フト、年々八分ノ増加ノ率ニナッテ居ル、ノミナラズ昨年ノ如キハ特ニ多カッタ、アナタ方ノ方ノ御需要ノ關係モアリマシテ、増加率ガ一割二分ニ達シテ居ル、デ、十年間經過シマスルト、需要高ハ倍ニナリマス、斯ウ云フヤウナ情勢ヲ辿ッテ居ルノデアリマス、而シテ一面又原料ノ輸入ノ趨勢ヲ見マスルト、昭和七年デ六千五百七十五萬圓、昭和八年デ一億三

千六百六十四萬圓、昭和九年ハ一億七千七百五十六萬三千圓、昨年ノ昭和十年ハ、二億七百十五萬九千圓、斯ウ云フヤウナ原料輸入ノ海外支拂ト云フモノヲ日本ハヤッテ居ル、是ハ大變ナコトナンデス、斯ウ考ヘテ見マスト云フト、是ハ餘程——大藏當局ノ御話ヲ聽クト、僅ニ二百十萬圓ノ税金ヲ取ル爲ニ、此國策ノ根本ノ精神ヲ破壞スルヤウナ第一歩ヲ踏出ス——今日免稅ノ特點ヲ受ケテ居リマスル會社等ハ、此免稅ヲ廢止トナリマシテモ、事業上ニ支障ヲ來スヤウナコトハ毛頭アリマスマイ、私モナイト確信シマス、確信シマスルガ、爾餘ノ事業者、是等ノ此免稅ノ特點ト云フモノヲ取ルト云フコトニ付テノ其判斷ハ、將來ニ於テ斯ウ云フ特點ハナクナルモノデア、先ツ之ヲ廢スルト云フ政府ノ方針デアルト云フ、邪推ト申スカ、推測ト申スカ、サウ云フヤウナ不安ノ念ニ驅ラレテ、將來擴張計畫ヲ持ツモノモ之ヲ中止ヲスル、謂ハバ國策ノ根本ノ遂行ニ一ツノ罅ヲ入レルト云フコトニ、私ハ相成ラウト思フノデス、私共ノ立場カラ申スナラバ、此海外支拂ガ一億數千萬圓ニモ上ルモノガアルコトヲ考ヘマスト、僅ニ二百十萬圓、最低二十三億ノ此龐大ナル豫算カラ見マスト云フト、

千分ノ一ニ達シナイ僅ナ金額デア、是ガ、各省十一省ヲ通ジテ、平均豫算高ニ應ジテ、此千分ノ一ノ御節約ガドウシテ出來ナイカ、斯ウ云フ大事ナ國家ノ國策ヲ遂行スルノニ、中途デ罅ガ入ルヤウナ、當業者ガ首ヲ捻ッテ手控ヘマスト云フヤウナ傾向ニナルコトハ、將來恐ルベキ——一朝事アル時ノコトヲ考ヘマスト、私ハ憂慮ニ堪ヘナイ、軍部當局ト致シマシテハ、此點ニ如何ナル御考ヲ御持チニナッテ居リマスルカ、此鐵ノコトハ、主トシテ軍需工業ノ關係デアリマスルガ、國防強化、國防ノ充實ヲ圖ルト云フ今日ノ時代ニ於キマシテハ、軍部ノ御考ガ最モ此國策ノ遂行ノ上ニ私ハ重大ナル意義ヲ持ツモノト思ヒマスルカラ、貴重ナル時間ヲ御割キテ願ッタノデアリマス、諄イコトハ申シマセヌガ、軍部ノ御考ノアル所ヲ卒直ニ一ツ御聽カセテ願ヒタイ

○永野國務大臣 只今御質疑ノ點、即チ昨年度ニ於キマシテ二百三十萬圓ノ屑鐵及銑鐵ヲ日本ニ輸入シタ、サウシテ將來鐵ノ需要ハ益々増シテ行クト云フコトニ對シマシテ憂慮致シマス所ハ、洵ニ倉元君ト全然御同感デゴザイマス、特ニ軍部大臣ト致シマシテハ、燃料ソレカラ鐵ト云フコトニ付テハ、是ハ非常ナ大事ナ問題ト思ウテ、大イ

ニ憂慮シテ居リマス、將來ハ斯ウ云フヤウナ輸入ハ是非トモ止メテ、日本デハ鐵ニ付テ他所ノ助ケヲ經ズシテ需要ニ應ズルヤウナコトガ出來ルヤウニスルト云フコトニ關シマシテハ、大イニ是ハ考慮シナクチャナラス、隨テ熔鑛爐ノ増設モ必要デア、ソレカラ鐵鑛ノ處理ニ關スルコト、又鐵鑛ノ資源ヲ確保スルト云フコトニ關シテハ、及バズナガラカヲ盡シタイト思ウテ居リマス、製鐵ノ問題ニ關シマシテハ、將來當該主務當局ノ方ト十分聯絡ヲ執リマシテ、出來ルダケ盡シタイト思ヒマス、只今ノ稅ニ關スル件ニ付テハ、是ハ當該大臣カラ御聽キテ願ヒマス

○寺內國務大臣 陸軍ニ於キマシテモ、此銑鐵ノ國策ヲ貫徹スルコトニ付キマシテハ多大ノ關心ヲ有ッテ居リマス、只今海軍大臣カラ御説明ノアリマシタヤウナ風ニ、陸軍當局トシマシテモ、折角主務官廳ト協同シテ進ンデ參リタイト考ヘマス

○倉元委員 然ラバ軍部ノ當局ト致シマシテハ、現在ノ此鐵ノ國策ト云フモノハ、立法當初ノアノ精神ヲ貫イテ行ク、斯ウ云フ風ニ御考ニナッテ居ルト承知シテ宜シウゴザイマスカ

○永野國務大臣 甚ダ寡聞デゴザイマスガ

當初ノ方針ト云フノハ能ク承知シナイノデアリマスルガ、鐵ニ付テ私共考ヘテ居リマスノハ、先ニ申上ゲマシタ通り、日本ノ需要ニ應ズルダケノ鐵ヲ是非共造リタイト、斯ウ云フ考デアリマス

○倉元委員 今海軍大臣ノ御答ニナリマシタ日本ガ、需要スル所ノ鐵ハ、日本デ供給シ得ル、即チ自給自足ノ立場ニ置キタイ、斯ウ云フヤウニ承知致シマスルガ、是ガ即チ當初此獎勵法ヲ拵ヘマシタ時ノ精神デアリマス、デアリマスカラ自給自足ニ置クト云フコトニハ、今申シマスルヤウニ、毎年海外拂トシテ一億數千萬圓モ拂フト云フ此情勢ヲ無クナサウ、無クナス爲ニハ、其原料デアル所ノ鐵鋼材ト云フモノヲ何處カラ持ッテ來ルカ、御承知ノヤウニ、只今滿洲、朝鮮カラ出マスモノハ、極メテ貧鐵デアリマス、此貧鐵石ニ對スル處理ト云フモノガ、日本デハ何等ガ著ケテナイ、私ノ聞キ及ンデ居リマス所ニ依ルト、他ノ國デハ或ハ獎勵金ヲ出シテ、貧鐵ノ處理ヲ強制的ニ、二割使ヘト云フヤウナコトヲヤッテ居ル國モアルト云フヤウナコトヲ、聞キ及ンデ居リマスガ、我國モ自給自足ニ達スル一ツノ過程トシテハ、朝鮮滿洲、其他我國ニ於テ他ノ外國ノ世話ニナラナイデ、供給シ得ル

方法ヲ講ズルト云フコトハ、當然ノコトデアラウト私共ハ思フノデアリマス、隨ヒマシテ根本ノ問題ハ、熔鑄爐ノ問題ニ入ル譯デアリマスガ、熔鑄爐ノ問題ハ只今申スヤウニ、今カラ五百種爐ガ十五基ナケレバ、今日ノ三百七十五萬種ノ鋼材ヲ賄ヒ得ルダケノ設備ニナラナイ、其中漸ク六基ダケ今年ノ秋カ、來年ノ春、又ハ來年一杯位ニハ完成スルヤウナ状態デアリマスカラ、之ヲ考ヘルト、ドウシテモ今ノ根本ニ觸レタ對策ヲ御講ジ下サルコトヲ御考ヘニナルナラバ、前段申ス所ノ此二百十五萬圓ト云フヤウナ當業者ノ頭ヲ挫クヤウナコトハ、私ハ止メタ方ガ宜イ、斯ウ考ヘル譯デアリマスケレドモ、マア軍部ノ御方針ガサウ云フ風ニ、當初ノ御方針ト少シモ變ラナイト御言明下サイマシタノデ、其點ヲ承レバ結構デアリマス、有難ウゴザイマシタ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○金光委員長

綾川君

○綾川委員 私ハ對滿事務局長總裁トシテノ、陸軍大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマシタ、昭和十二年ノ十月一日ヲ以テ治外法權ヲ滿洲ニ於テ撤廢ナサルト云フ御方針ガ、御確定ト云フコトヲ聞イテ居リマス、新聞ニモ出マシタ、然ルニ最近私ガ滿洲ヲ

旅行シマシタ際ニ、非常ニ歎ハシイコトデアルト感ジタコトガアル、ソレハ此點ニ於キマシテ非常ニ朝鮮人ノ不穩ナ空氣ヲ、私ハ見テ參ッタノデアリマス、治外法權ヲ撤廢サレマスガ、教育權ダケハ我が日本ノ行政官憲ノ手ニ之ヲ留保サレル御模様デアリマス、其際斯ル治外法權撤廢ノ條約ニ於テ、日本人ノ中カラ朝鮮人ヲ除外シテ、之ヲ滿洲國ノ行政官憲ノ手ニ委ネラレル、斯様ニシテ行クナラバ、吾々朝鮮人ハ日本人ヂヤナイ、朝鮮人ハ日本人ノ中カラ除外サレルノダ、今マデ滿洲事變以後ニ於テ、我が日本ニ取ッテ非常ニ好轉シタ空氣ガ在滿、在鮮ノ朝鮮人ノ間ニアッタノデアリマスガ、若シ斯様ナコトニナルト云フト、在滿ノ朝鮮人ガ激化スルノミナラズ、朝鮮半島ノ朝鮮人ヲシテ非常ニ激化セシメ、我が治鮮政策ニ非常ニ蹉跌ヲ來スノミナラズ、東洋民族ニ對スル所ノ、民族政策ノ上ニ於テ、非常ナル障礙ヲ來シヤセヌカト私ハ考ヘルノデアリマス、果シテ傳ヘ聞キマスル如ク、日本人ノ中カラ朝鮮人ノ教育ヲ除外サレルト云フ、斯様ナ御意思デ御實行ナサルノデアリマセウカ、其點ヲ承リタイト思ヒマス

○寺內國務大臣 治外法權ノ撤廢ノ時期トカ、内容トカ云フコトニ付テハ、マダ決定シテ居ラヌト私ハ承知シテ居リマス、尙ホ治外法權撤廢ノコトハ私ノ所管デアリマス、只マセヌ、實ハ外務省ノ所管デアリマス、只今仰シヤツタコトハ一ツ御意見トシテ承ッテ置クニ留メタイト思ヒマス

○金光委員長

木村君

○木村委員 私ハ軍部兩大臣ガ揃ッテ御見エニナッテ居リマスカラ、此際希望ヲ申上ゲマシテ、御意見ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス、馬場大藏大臣ハ、先程來此席上デ、從來大藏當局ガ採リ來ッテ居ッタ公債漸減ノ主義ニハ必シモ拘束サレルモノデナイ、斯ウ云フ御答辯ガアリマシタ、此公債漸減ノ主義ヲ必シモ御採リニナラヌ、斯ウ云フコトニナルト、私ハ赤字公債ハ多少殖エルカモ知レナイ、斯ウ云フコトヲ考ヘナクチャナラヌト思ヒマス、此點ハ私共ガ、從來主張シテ來テ居ルコトト一致スルノデアリマス、唯併ナガラ私ガ憂ヘマス所ハ、此數年來ノ政府ノ豫算ニ對シテ、私共ガ非難シテ居ル所ハ、軍事實ニ偏重シテ居ル、サウシテ國民生活ノ安定ニ關スル方面ヲ無視サレテ居ル斯ウ云フ點デアリマス、偏重ト云フコトハ決シテ軍事實ガ不必要ナント云フコトデハナクシテ、他ノ方ト均衡ガ取レテ居ナイ、他ノ方面ニモト出サナケレバナラヌ、是デ

○金光委員長

綾川君

ナケレバ廣義國防ノ目的モ達成サレナイデハナイカ、斯ウ云フ見解デアリマス、ソコデ公債漸減主義ニ必シモ拘束サレナイ、斯ウ云フコトニナリマス、私共ガ、今日ノ情勢カラ考ヘマス、益々軍事實偏重ノ豫算ガ現内閣ニ依ッテ出來ハシナイカト云フコトヲ憂ヘルノデアリマス、ソコデ明年度ノ豫算編成等ニ於テ、閣議デ今後御協議ニナルコトト思ヒマスガ、私ハ軍部ノ兩大臣ガ單ニ行政ノ長官トシテデナク、眞ニ國務大臣トシテ軍事實ノ要求ニ付テハ御考慮ガナケレバ、益々從來ノヤウナ非難ヲ倍加スルデハナイカ、斯ウ云フコトヲ憂ヘルノデアリマス、隨テ其點ニ付キマシテハ、軍部兩大臣ノ特ニ深甚ナル御考慮ヲ、御願ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、ソレニ關聯致シマシテ、從來軍部兩大臣ニ於キマシテモ、國民生活ノ安定、農漁山村、中小商工業ノ振興ト云フコトニ付キマシテハ、特ニ軍事實ノ使用等ニ付キマシテモ、ソレノ意ヲ用ヒラレテ居リマスガ、其點ハ私共ノ洵ニ感謝ニ堪ヘナイ次第デアリマス、唯今後十二年度ノ豫算編成等ニ當リマシテ、單ニソレダケデナシニ、私共ハ軍部ノ兩大臣ハ國務大臣トシテ、國民生活ヲ安定セシメル、廣義國防ノ充實ヲ圖ル、斯ウ云フ見地カラ致

○金光委員長

綾川君

ナケレバ廣義國防ノ目的モ達成サレナイデハナイカ、斯ウ云フ見解デアリマス、ソコデ公債漸減主義ニ必シモ拘束サレナイ、斯ウ云フコトニナリマス、私共ガ、今日ノ情勢カラ考ヘマス、益々軍事實偏重ノ豫算ガ現内閣ニ依ッテ出來ハシナイカト云フコトヲ憂ヘルノデアリマス、ソコデ明年度ノ豫算編成等ニ於テ、閣議デ今後御協議ニナルコトト思ヒマスガ、私ハ軍部ノ兩大臣ガ單ニ行政ノ長官トシテデナク、眞ニ國務大臣トシテ軍事實ノ要求ニ付テハ御考慮ガナケレバ、益々從來ノヤウナ非難ヲ倍加スルデハナイカ、斯ウ云フコトヲ憂ヘルノデアリマス、隨テ其點ニ付キマシテハ、軍部兩大臣ノ特ニ深甚ナル御考慮ヲ、御願ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、ソレニ關聯致シマシテ、從來軍部兩大臣ニ於キマシテモ、國民生活ノ安定、農漁山村、中小商工業ノ振興ト云フコトニ付キマシテハ、特ニ軍事實ノ使用等ニ付キマシテモ、ソレノ意ヲ用ヒラレテ居リマスガ、其點ハ私共ノ洵ニ感謝ニ堪ヘナイ次第デアリマス、唯今後十二年度ノ豫算編成等ニ當リマシテ、單ニソレダケデナシニ、私共ハ軍部ノ兩大臣ハ國務大臣トシテ、國民生活ヲ安定セシメル、廣義國防ノ充實ヲ圖ル、斯ウ云フ見地カラ致

○金光委員長

綾川君

ナケレバ廣義國防ノ目的モ達成サレナイデハナイカ、斯ウ云フ見解デアリマス、ソコデ公債漸減主義ニ必シモ拘束サレナイ、斯ウ云フコトニナリマス、私共ガ、今日ノ情勢カラ考ヘマス、益々軍事實偏重ノ豫算ガ現内閣ニ依ッテ出來ハシナイカト云フコトヲ憂ヘルノデアリマス、ソコデ明年度ノ豫算編成等ニ於テ、閣議デ今後御協議ニナルコトト思ヒマスガ、私ハ軍部ノ兩大臣ガ單ニ行政ノ長官トシテデナク、眞ニ國務大臣トシテ軍事實ノ要求ニ付テハ御考慮ガナケレバ、益々從來ノヤウナ非難ヲ倍加スルデハナイカ、斯ウ云フコトヲ憂ヘルノデアリマス、隨テ其點ニ付キマシテハ、軍部兩大臣ノ特ニ深甚ナル御考慮ヲ、御願ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、ソレニ關聯致シマシテ、從來軍部兩大臣ニ於キマシテモ、國民生活ノ安定、農漁山村、中小商工業ノ振興ト云フコトニ付キマシテハ、特ニ軍事實ノ使用等ニ付キマシテモ、ソレノ意ヲ用ヒラレテ居リマスガ、其點ハ私共ノ洵ニ感謝ニ堪ヘナイ次第デアリマス、唯今後十二年度ノ豫算編成等ニ當リマシテ、單ニソレダケデナシニ、私共ハ軍部ノ兩大臣ハ國務大臣トシテ、國民生活ヲ安定セシメル、廣義國防ノ充實ヲ圖ル、斯ウ云フ見地カラ致

シマシテ、此國民生活ノ安定ニ關スル方面ニ、特ニ國務大臣トシテノ御努力ヲ一ツ願ヒタイ、私共ハ現在ノ豫算ノ上ニ、少クトモ農村或ハ中小商工業其他産業振興ノ爲ニハ、尙ホ一億圓位増サナケレバナラス、サウシナクテハ軍事費ト國民生活安定ニ關スル經費ト、鈞合ガ取レヌ、又廣義國防ノ目的モ達セラレナイ、斯ウ云フ見解ヲ持ッテ居リマスカラ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ、特ニ御努力ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ希望ヲ申上ゲマシテ、ソレニ付テ兩大臣ノ御所見ヲ御聞キンタイト思ヒマス

○永野國務大臣 從來ハ軍事費偏重デアッタ、斯ウ一言ニ仰シヤイマシタノデゴザイマスガ、從來軍事費ハ出來ルダケ少ナクシナケレバナラスト云フ、熱誠ナル意思ヲ以テ豫算ハ編成シテ居リマス、併ナガラ近來特ニ滿洲事變ノ激發、ソレ以來四圍ノ狀況ヲ考ヘマシテ、洵ニ國防ノ爲ニ豫算ノ澤山要リマシタコトハ、是實ニ已ムヲ得ナイコトト存ジテ居リマス、申ス迄モナク私共一方ハ海軍行政ノ長官ト致シマシテ、又一方ハ國務大臣ト致シマシテ、十分ニ閣僚ト相談致シマシテ、今後ノ豫算ヲヤッテ行ク積リデアリマス、過般來度々述ベマシタ通りニ、残念ナガラ日本ノ國防モ此際ハ相當ニ健實

ニ之ヲ作ッテ參ッテ、國家ノ安全ト云フモノヲ期セナケレバナラナイ状態ニアリマス、今仰セラレマシタ點ハ十分考慮致シマス

○寺内國務大臣 只今ノコトハ御意見トシテ十分尊重ヲ致シタイト思ヒマス

○末次委員 モウ一寸……陸軍大臣ニ伺ヒマス、陸軍大臣モ國防上非常ニ移民ガ必要デアルト、斯ウ云フコトヲ先刻言ハレタノデアリマスガ、私モ滿洲ノ國防ヲ日本ガ受持ッテ居ル以上ハ、一々日本カラ兵隊ヲ送ルト云フコトモ非常ニ金ガ要ル、詰リ滿洲ニ澤山ノ移民ガ出來レバ、其處カラ募集モ出來マセウシ、又豫備兵モ出來ルト云フコトニナラナケレバ、永久ニ互ル滿洲ノ權益ノ擁護、ソレカラ一切ノ事ヲヤルコトハ非常ニ難カシイト思ヒマス、其點ハ陸軍大臣トウ云フ御意見ヲ御持チデアリマスカ

○寺内國務大臣 御尤ノ御意見ト存ジマス

○末次委員 サウ御考ニナッテ居ラレルナラバ、私ガ一昨日大藏大臣ニモ其費用ノコトニ付テ大分御話シタノデアリマスガ、今御話ノヤウニ、其移民ニ金ガ澤山要ル、出サスト云フノデハナイ、國策ニ是非必要ダト云フコトナラバ、出來ルダケ考慮シテ出スト言ッテ居ラレマスカラ、一層力強ク陸軍大臣カラ此移民ノコトヲ……直グ今カラデモ

著手出來ルヤウニ、一ツ力強クソレヲ大藏大臣ニ請求シテ戴イテ、成ベク早く實現ノ出來ルヤウニシテ戴クコトヲ御願シテ、私ノ質問ヲ打切りマス——次ニ拓務大臣……今丁度其處ニ居ラレマシタカラ、御聽キニナツタコトト思ヒマスガ、移民ハ生活安定ニ非常ニ必要アリト云フノデ、滿洲ダケデナク「ブラジル」トカ方々ニ出サレテ居リマスガ、併シ今申上ゲマシタヤウニ、唯生活安定ト云フダケデナク、軍事上ニモ非常ニ必要ガアル、ソコデ滿洲移民ニ對シテノ補助ノ方法、ソレカラ「ブラジル」アタリニ行ッテ居ル補助ノ方法ハ、ドウ云フ風ニナッテ居リマスカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ

○永田國務大臣 滿洲國ノ方デノ移民ハ、是ハ今拓務省デ主トシテ取扱ッテ居ルコトハ、所謂團體移民ヲ是マデ四回ニ互ッテ千八百戸アチラニ移民シタノデアリマス、是ハ一戸當リ千圓ガ大體原則ニナッテ居ルノデアリマスガ、千百圓位ノ所モアルシ、モウ少シ要ル所モゴザイマス、ソレカラ「ブラジル」ノ方ニ行キマスル者ハ、大體一人三百圓位ニナッテ居ルノデアリマス

○末次委員 モウ少シ色々ナ方面ニ多く出テ居ルヤウニ私ハ聞イテ居リマシタガ、サウデハナイノデスカ、航路補助トカ、向フ

ヘ行ッテカラノ色々ナ費用トカ云フモノハ、モウ少シ多くナッテハ居リマセスカ

○高山政府委員 私カラ御答致シマス、南米ニ行ッテ居リマスル移民ハ、大體二種アル譯、デアリマスガ、只今大臣カラ御答致シマシタノハ、單純ナ勞働移民トシテ南米ニ行ッテ居リマスル分デゴザイマシテ、是ハ渡航費ガ約二百圓、ソレニ支度金トカ色々之ニ附隨シマス政府ノ施設モゴザイマシテ、約三百圓ト押ヘテ居リマスガ、家族ノ構成ヲ大體六人位トシマシテ、千二百圓位ニナル譯デアリマス、尙ホ是レ以外ニ南米ニ行ッテ居リマスモノニハ、企業移民ガゴザイマシテ、是ハ主ニ移住組合聯合會ノ手デ行ッテ居リマス、之ニ對シマシテハ今ノ渡航費其他ノ補助以外ニ、向フニ於テ組合ノ行ヒマスル色々産業施設トカ、公益施設ニ對スル補助、其他各企業移民ニ對スル色々貸付金ナドノ問題モアリマスガ、是ハ色々事業ガ完成シタ後ニ考ヘマスルノト、初ニ考ヘマスノト、計算ノ仕方モ違ヒマシテ、ハッキリ幾ラト云フコトモ申上ゲ兼ネマスルガ、極ク大體ノ見込トシマシテハ、一戸當リ千七八百圓位ニ考ヘテ居リマス

○末次委員 大體其數字ヲ何カデ拜見シマシタガ、唯「ブラジル」アタリニ行キマスノ

七八百圓位ニ考ヘテ居リマス

ハ、日本ノ人間ヲ減ラスコトガ主ニナツテ、
兎ニ角日本人ノ生活安定ニ非常ニ貢獻スル
ノデゴザイマセウガ、滿洲移民ハソレ以外
ニ非常ニ大切ナ、先刻カラ御話シタヤウナ
意味ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、十分此
邊ニ力ヲ盡シテ戴キタイ、ソレカラ先刻陸
軍大臣ニモ申上ゲマシタヤウニ、土地ノ代
ヲ日本ノ移民ニ掛ケル、斯ウ云フ風ニナツテ
居ルヤウニ承知シテ居リマスカ、是ハ拓務
大臣下御考ニナツテ居リマスカ

○永田國務大臣 是カラノ滿洲ノ移民ハ、
滿洲拓殖株式會社ノ方デ土地ヲ得マシテ、
ソレヲ團體移民ノ者ニ分讓スルノデアリマ
ス、其土地ヲ得ルニ付テ、滿洲ノ方デハ相
當費用ヲ出スノデアリマスカラ、其土地ヲ
分讓サレテ、其處デ耕作ヲシテ行ケルヤウ
ニナツテ、相當ノ利潤ヲ得ルヤウニナレバ、
ソレヲ自分ノ物トスル爲ニ買取ルニ金ヲ
出ス、斯ウ云フ仕向ケニナツテ居ルノデアリ
マス

○末次委員 ソレモ私ノ承知シテ居リマス
ノデハ、拓務省デ約千圓補助シテ居ツテ、會
社ノ方デ約千圓、ソレカラ家ヲ造ルトカ、種
ノ代トカ、道具ノ代トカ云フモノノ爲ニ千
圓、後千六百圓ハ土地ノ代トシテ會社ガ立
替ヘル、サウシテ之ヲ十年シテ、十五年間

ニ拂フトカ云フコトニナツテ居ルサウデゴ
ザイマスカ、先刻私ガ申シマシタヤウニ、
拓務大臣ハ日本人ヲ滿洲ニ移民サセテ、サ
ウ云フコトデ宜イト思ツテ居ラレルノカ、私
ハドウシテモ滿洲ノ土地ハ、日本人ガ値段
ヲ上ゲテヤッタヤウナモノダ、上ゲテヤツテ、
其高イ土地ヲ日本人ニ負擔ヲ掛ケルト云フ
コトハ、ドウモ訝シイト思フ、ドウシテモ向
フノ政治ヲ指導シテヤツテ居ル日本人ガ澤
山行ツテ居ラレルカラ、是ハドウシテモ
向フノモノヲ拓イテヤリ、向フノモノヲ盛
ンニシテヤルノダシ、ソレカラ收入モ亦滿
洲國ハ殖エルコトデアアルカラ、之ヲ滿洲國
デ買ツテ貰ツテ、日本人ノ移民ニハ、成功サ
ヘスレバ只ヤル、斯ウ云フ立前デナケレバ
私ハイカスト思フノデス、之ニ付テノ御考
ヲ伺ヒタイ

○高山政府委員 只今ノ點ニ付キマシテ、
御參考ニ共事情ヲ一寸簡單ニ申上ゲテ置キ
タイト思ヒマス、滿洲國ニ於キマスル土地
ハ、大體今大臣ノ申上ゲマシタヤウニ、滿
洲拓殖デ相當ナ土地ヲ現ニ持ツテ居リマシ
テ是ダケヲ開發スルノニ相當ナ移民ノ數ヲ
實ハ必要トスルヤウナ次第ニナツテ居リマ
ス、大體先程陸軍大臣カラモ御答ガアリマ
シタヤウニ、土地ハ皆相當ナ相場ニナツテ

居ルカラ、之ヲ移民ニ全部無償デヤルコト
ハドウカト云フコトニ付キマシテハ、色
色研究ヲ致シテ居リマスノデスガ、尙ホ中
中是ハムヅカシイコトデハナイカト云フヤ
ウナ氣ガ實ハ致シテ居リマス、尙ホ其點ニ
付テ、ハッキリト申上ゲラレマセヌ、マダ十
分ニ研究ノ餘地ガアル問題ト存ジテ居リマ
ス、現在各方面ノ大體ノ考ヘ方トシマシテ
ハ、土地ニ付キマシテ、相當ナ代價ヲ拂ヒ
マシテモ、尙ホ移民ガ向フデ十分ニ採算ガ
出來ルヤウニ考ヘテ居リマス、其點ニ付キ
マシテハ從來ノ色々ナ移民ノヤリ方ニ付
テ、尙ホ檢討シナケレバナラヌ點モアルト
考ヘテ居リマス、色々ノ點ニ付テ十分研究
致シマシテ進ミタイト考ヘマス、現在ニ於
テハサウ云フヤウナ實情ニナツテ居リマス

○末次委員 一寸今伺ツタ所ガ、滿洲移民會
社ガ之ヲ貸付ケテ、其持ツテ居ル土地ヲ分ケ
テヤル、斯ウ云フ御答辯デシタガ、サウシ
マス、アノ元、マダ滿洲國ノ成立シナイ
前ニ、奉天ニ拓殖會社ガアリマシタガアノ
會社ノ財産ヲ一緒ニシテ、今度ノ滿洲拓殖
ヲ御持ヘニナツタノデアリマスカ

○高山政府委員 今末次サンノ御尋ノ會社
ハ滿洲ノ東亞勸業グラウト考ヘマスカ、東
亞勸業ハ實際ハ今ノ滿洲拓殖トハ別ニ考ヘ

テ居リマス、尙ホ滿洲拓殖ガ出來マス前ニ、
取敢ズ日本人ノ農業移民ヲ入レル爲ニ、相
當ナ土地ヲ用意スル必要ガアルト云フ見地
カラシマシテ、今ノ滿洲拓殖ノ出來ル前ニ、
今現ニ滿洲拓殖ガ持ツテ居リマスル土地ヲ、
相當向フデ商租致シタノデアリマス、此時
ニハマダ滿洲拓殖ガ出來テ居リマセヌデシ
タカラ、誰ノ名義デ、ドノ名義デヤルト云
フコトニ付テ色々研究致シマシタ結果、取
敢ズ東亞勸業ノ名義デ、現在滿洲拓殖ノ持ツ
テ居リマス土地ヲ全部商租シタ譯デアリマ
ス、ソレダケノ土地ヲ今度滿洲拓殖ガ引繼
ギマシテ、東亞勸業ガ昔カラ持ツテ居ル土
地ハ別ニ考ヘテ居リマス、東亞勸業ガ滿洲
拓殖ノ出來マスル前身トシテ商租シタ部分
ダケヲヤツタコトニナツテ居リマス

○末次委員 能ク分リマシタ、サウシマス
ト人間ガ餘リ好過ギルヤウニ私ハ思フノデ
ゴザイマスカ、滿洲ノ土地ト云フモノハ、
自分ガ行ツテ金ヲ出シテ買ツタヤウナ土地ハ
殆ドアリハシナイデ、其近邊ノ權力ノアル
人ガ自分ノ名前デ取ツタリ、自分デ先へ行
テ其近邊ヲ俺ガ作ル土地ダト云ツテ取ツタ
ノ土地バカリデアアル、其土地ヲ日本ガ地價
ヲ附ケテヤツテ、良クシテ、値段ヲ高クシテ
ヤツタ、其土地ヲ今度ハ高ク日本人ニ賣附ケ

ルト云フコトハ、是ハ當ヲ得タモノデハナイト思フ、此邊ハ餘程拓務大臣、其衝ニ當ル方ハ、考ヘテ戴カナケレバナラス、公平ニヤラナケレバナラス、他所ノモノヲ日本人ガドウスルコトモ出來ヌト云フノデナク、大體元ハサウ云フ土地ダカラ、日本人ガ斯ウ云フヤウニ拓イテヤッテ、日本人ガ全部立派ニシテヤッタ土地ナノデアルカラ、是ハドウシテモ滿洲國ニ交渉シテ、只取ッテ貰フヤウニドウシテモシナケレバ、理窟ガ合ハヌト思ヒマス、拓務大臣ハドウ御考ニナッテ居リマスカ、拓務大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○永田國務大臣 滿洲ノ方ノ立場ハ、ト云フノデ實ハアチラノ役人ヲシテ居ル人ニ、私個人トシテ聞イテ居ルコトデアリマスカ、鄭孝胥氏ナンカモ、ドウモ三十年モ住ッテ居ル先住者ヲ押退ケテ、サウシテソレヲ日本人ノ拓殖移民ニ使フト云フコトハ、滿洲ノ統治上非常ニ迷惑ヲスルカラ、ソレダケハ是非ヤラズニ居ッテ呉レト云フノデ、中是ハ滿洲國政府ノ官吏ノ内輪デ、相當喧シイコトヲ承ッテ居リマス、兎ニモ角ニモ先任シテ居ル者ヲ追出シテ、其土地ヲ取上ゲルト云フコトハ穩カデナイト思ヒマス、要スルニ眼目ハ日本カラアチラニ移住シテ行

ク者ガ、其處デ暮シ得ルカドウカト云フコトガ問題ナノデアリマシテ、暮シ得ルナラバ其土地ヲ相當ノ値段デ買ハセテ金ヲ出サセルコトハ、差支ナイト思ッテ居リマス、今第一移民第二移民アタリノ成績ヲ見マスト、一家族ニ對シテ二十町歩與ヘテヤル、ソレハマダ全部開墾サレテ居ナイノデ、今ノ様子デハ十分暮シ得ル自信ガ立ッテ居ルノデアリマス、サウ云フ風ニ實際暮シ得ルノデアレバ、其土地ヲ自分ノモノトスル爲ニ費用ヲ拂ハシテモ宜イデヤナイカ、又暮シ得ナイヤウナ場合ニハ幾ラ移民ヲ獎勵シテモ、近イノデスカラ多勢ノ移民ヲヤッテモ直グ戻ッテ來マス、ソレデ戻ッテ來ナイデ、ヤッテ行ケルヤウニシナケレバナラスノデアリマスカラ、要ハ暮シ得ルカドウカト云フコトト、暮シ得ルヤウニ仕向ケナケレバナラスト云フコトガ、問題ニナルノデアラウト思ヒマス

○金光委員長 末次君マダ長イデスカ
○末次委員 モウサウ長クハアリマセヌ
○金光委員長 拓務大臣ハ他ノ委員會ノ方ニ非常ニ急ガレテ居リマスカラ、商工省ノ方ノ質問ヲ此際願ッテ、後デ拓務大臣ニモウ一度來テ貰ッテ、其時ニ質問サレテハドウデスカ

○末次委員 ソレデハサウ致シマス
○金光委員長 商工大臣ニ對スル御質問ヲ願ヒマス、倉元君ハ今見エナイカラ、大島君ニ願ヒマス
○大島委員 實ハ大臣ナリ、細カイコトハ政府委員ニ御尋シタイト思フノデスカ、大臣ガ御急ギデ倉元サンガ御急ギナラ、倉元サンノ後デ宜シイノデスカ……
○金光委員長 アナタノハ餘程時間ヲ取ルノデスカ
○大島委員 餘リ取りマセヌ
○金光委員長 ソレデハ倉元君ハ居リマセヌカラ、兎ニ角ズツト繼續シテ下サイ
○大島委員 ソレデハ大臣ニ對スル分ダケ先ニ御伺ヒ致シマス、先程倉元委員カラ陸海軍大臣ニ對シテ、製鐵ノコトニ對スル御方針ハ、從來ト變リハナイカ、所謂自給自足主義ニハ變リハナイカト云フコトヲ御尋ニナツタノデアリマスカ、陸海軍大臣ハ何レモサウ云フ方針デ進ミタイト、斯ウ云フコトデアッタノデアリマスカ、今商工省ノ提案ヲ見マスカラ、百分ノ十以上ノ利益ガアツタモノニ對シテハ、課税スルト云フ方針デアリマスカ、是ハ今日ノ我國ノ製鐵ノ現狀カラ見マシテ、マダ中々自給自足ノ域ニ達スルコトノ容易デナイコトハ、只今倉元君

ノ數字ヲ擧ゲテノ質問デ能ク分ッテ居ルノデアリマス、此時ニ於テ或ハ商工省ト致シテハ、百分ノ十以上ノ利益ガアツタノニ課税スルノデアルカラ、其發展ヲ阻害スルヤウナコトハナカラウ、斯様ナ御見解デ居ラルルノカモ知レマセヌガ、併シ事業家ハ總テ利益ノアル所ニ向ッテ進ムノデアリマスカラ、利益ガ澤山ニアル、相當ノ利益ガアルト云フ見込ガ立ッテ初メテ投資モ致スノデアリマスカラ、若シ是ガ今後ドウナルカ又或ハ獎勵法モ終ヒニハ止メルノデヤナカラウカト云フヤウナ考ヲ持マカスル時ニ於テハ、自然此大資本ヲ掛ケテヤル熔鑛爐ノ建設ト云フヤウナコトニ對シテハ、彼等ハ躊躇スルト思フ、サウナツテ來ルト、先程來ノ御話デ、尙ホ現狀ニ於テモ十五基ノ熔鑛爐ヲ必要トスルト云フヤウナ場合ニ、今六基ダケノ準備ヲ致シテ出願ヲシテ居ルト致シマシテモ、尙ホ之ニ對スル建設モ、或ハ本年出來ルモノモ明年ニナリ、或ハ明後年ニナルト云フヤウニ、自然長ク掛ルカモ知レヌ、或ハ又中止スルカモ知レヌ、更ニ其殘餘ノ九基ガ必要デアルト致シマシテモ、之ヲ計畫スルコトハ自然中止スルト云フヤウナコトニナリハシナイカ、更ニ又今日ノヤウナ、段々鐵ノ必要ヲ感ジテ居ル場合ニ於テ、

年々需要ノ増加スル場合ニ於テ、一層十五基ノモノハ更ニ二十基ニモ、二十五基ニモスル必要ガ起ツテ來ルヤウニナルカモ知レヌニ拘ラズ、今折角芽生エラシテ居ル、漸ク鉄鐵事業モ段々發展シ自給自足ノ域ニ達シテ投資ヲ躊躇セシムルト云フヤウナ法案ヲ御出シニナルト云フコトハ、ドウ云フモノデアラウカ、此點ニ付テハ根本ノ商工大臣ノ御意見ヲ伺フテ置キタイ

○小川國務大臣 鐵ノ國策ニ付キマシテハ、外ノ大臣カラモ御話ガアツタヤウデアリマスガ、先ヅ鐵ノ自給自足ヲ目標ニシテ、國策ヲ立ツテ來テ居リマス、其事ハ勿論變リハアリマセヌ、今御話ノヤウニ鐵鐵ガ日本ノ需要ヲ充スニ足リナイヤウナ状態デアリマス、ダカラ成ベク早く此鐵鐵自給ノ域ニ達スルヤウニヤラウト考ヘテ居リマス、ガ併シ此製鐵業獎勵法デ考ヘテ居リマシタノハ、其當時製鐵業ガ甚ダ幼稚デアツタカラ、ソレニ對シテ色々ナ政府デ補助ヲ與ヘルト云フコトデアツタノデス、其幼稚ナル所ハ飽ク迄モ尻押シヤスルガ、相當ニ良クナツテ收益ガ相當以上ニモ取ルコトガ出來ルヤウニナツテ來タラバ、其状態ニ適應スルヤウニヤツテ行カウ、此課税問題モソコカラ起ツタ

ノデアリマス、此法律案ハ御承知ノヤウニ一割以上儲ケタ者ニ、其一割以上ヲ超過スル額ニ對シテ課税ヲスル、ダカラ一割以下ノ儲ハヤハリ免稅デアリマス、ダカラ製鐵事業ガ弱イモノニ付テハ、免稅ノ特典ハ依然トシテ存シテ居ルノデアリマス、唯非常ニ強イモノニ對シテハ、ヤハリ國民負擔ヲスルノガ相當デヤナイカ、何モ獎勵法ト云フモノハ過當ノ保護ヲ——度ニ過ギタ保護ヲスルト云フノデハナイ、弱イモノヲ助ケテ成立タセヨウト云フノデアリマスカラ、一割以上儲ケタ非常ニ力ノ強イモノニハ課税ヲシテ、國民負擔ヲスルト云フ精神ヲ茲ニ發揮スルノガ、今日ノ社會情勢カラ見テモ相當ナコトデハナイカ、ソレアルガ故ニ製鐵事業ガ頓挫スルモノデモ挫折スルモノデモナイ、斯ウ云フヤウナ積リデ今度ノ法案ハ出來テ居リマス、隨テ自給自足ヲ圖ラウト云フ國策ニ何等ノ矛盾モナイ、サウ云フ考デゴザイマス

○大島委員 尙ホ御伺シマス、只今ノ御趣旨ハ能ク分リマシタ、然ラバ此製鐵業獎勵法ハ出來テカラ既ニ十數年經ツテ居ルノデアリマスガ、製鐵業ノ獎勵法ガ出來テカラ今日ニ至ルマデニ、ドウ云フ工合ニ發展シテ參ツテ居リマセウカ、即チ年々一ニ加ヘルニ

ニナリ、三ニナルト云フヤウナ工合ニ、秩序的ニ發達シテ參ツテ居リマスカ、又ハ其當時數年間ハ餘リ進マナカッタ、僅ニ此四五年間、所謂軍事上必要デアルト云フ點ニ於テ、近年著シク進ンデ來タト云フニ止ツテ居ルノデアリマセウカ、獎勵法ノ出來タ以後ノ製鐵事業ノ發展ノ模様ヲ承リタイと思ヒマス

○小川國務大臣 事實問題デスカラ政府委員カラ御答申上ゲマス

○小島政府委員 御答申上ゲマス、日本ノ製鐵業ハ此獎勵法制定以來、必シモ常ニ順調ノ發達ノミヲ致シテ參ツテ居リマセヌ或ル場合ニ於テハ相當ナ不況ニ陥リマシタ時代モアリマス、唯最近ニ於キマシテハ日本ノ製鐵業ガ、相當ニ其基礎ヲ鞏固ニ致シテ參ツテ居リマスノデアリマシテ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、日本ノ製鐵業ト云フモノハ、或ル程度ニ於テハ、順調ニ發達シテ來タモノ、斯様ニ思フテ居リマス

○大島委員 只今政府委員ノ御話ノ通り、僅ニ軍需工業ノ爲ニ一時的ニ進ンデ來テ居ルノダ、斯ウ云フコトハ私モ左様デアラウト思フノデアリマスルガ、左様ニ考ヘマシレバ考ヘマシル程、又今大臣ノ言ハレタ通り、一割以上ノ利益ガアルモノニ對シテ特別ノ保護ヲスル必要ハナイ、故ニ課税ヲシ

テモ差支ナイ、弱イモノニ對シテハ獎勵ヲシ保護ヲスル方針デアルト云フ御説ハ、理論ト致シマシテハ洵ニ一寸間キマスト立派ノヤウニ思ヒマスルガ、實際ノ事業家ノ心理状態、或ハ總テノ實際商業ニシロ、事業ニシロ、進ムモノハ所謂利益ニ向ツテ集マルノデアリマスルカラ、ヤハリ事業家ガソコニ何等カノ虞ヲ懷クト云フヤウナ觀念ヲ持チマスルト、必ズ折角今發展シヨウト芽ガ出掛ケタ所へ、芽ヲ摘ンデシマヘバ遂ニ成長ヲセズニシマフノデハナカラウカト思フノデアリマスルガ、是ハ十年デモ二十年デモ、何十年來順調ニ發展シテ來テ居ル事業デアルカラ、今茲ニ特別ナル保護ヲスル必要ナシト云フコトハ、大分趣ガ違フヤウニ考ヘラレルノデアリマスルガ、之ニ對シテハ大臣ハドウ御考ヘニナルノデアリマスカ

○小川國務大臣 先程モ御答申上ゲマシタヤウナ風ニ、此製鐵獎勵法ノ免稅ノ規定ノ中デ、全部ヲ免稅スルト云フ制度ヲ改メテ、一部課税ヲスル、ダカラ製鐵事業ガ一割以上ノ利益ガ收マラヌモノデアルトスレバ、日本ノ製鐵業者ハ皆免稅ニナツタト云フコトニナル、偶々一割以上儲ケテ居ルモノガアレバ、超過額ニ對シテノミ課ケルト云フコ

トデアリマスカラ、製鐵業法ノ精神ニ何等

矛盾モセナイ、元製鐵事業ヲ獎勵シテ免稅

ノ規定ヲ拵ヘマシタ時ニハ、中々算盤ガウ

マク行カナイダラウ、筈棒ナ儲ケガアルト

云フヤウナコトハ考ヘテ居ラナイカラ、ソ

コデ免稅ト云フコトガ起ツタノダト思フノ

デアリマス、ダカラ一割以上ノ儲ケト云フ

モノハ、先ヅ日本ノ法制カラ言ヘバ言葉ハ

惡イカモ知レマセヌガ、通俗ノ言葉ヲ以

テ言ヘバ、法外ナ儲ケダト言ツテモ宜イ、ソ

レ故ニ日本ノ所得稅法ニハ一割以上ノ儲ケ

ガアルモノニハ、其超過額ニ對シテ超過所

得稅ヲ掛ケテ居ルノデアリマス、ソレガ日

本ノ實業界ヲ何モ壓迫シテ居ナイ、餘リ筈

棒ニ儲ケルモノガアレバ、ソレニ對シテ稅

ヲ掛ケルト云フノガ、社會人心ノ上ニモ宜

イ、斯ウ云フコトニナル、サウスレバ製鐵

ヲヤツテ居ルモノダケガ五割デモ六割デモ、

ドンナニ儲ケテモ、益、獎勵スルト云フ精神

ヲ、ソコマデモ持ツテ行ツテ、サウシテ免稅

ヲスル、斯ウ云フノハ少シ度ニ過ギテ居ル

ノデヤナイカト、斯ウ考ヘタノデアリマス、

トシテ變ラナイノデアリマス

○大島委員 大臣ノ御説明ハ分ツクヤウナ

分ラヌヤウデアリマスガ、私ノ伺ハントス

ル所ハサウ云フ意味合デナク、事業家ノ心

理狀態等カラ觀察ヲ致シマシテ、實際問題

トスルト、今此僅カ二三年ニ於テ、折角發

達シカケタ所ノモノガ、ソレガ爲ニ挫折シ

ハセヌカ、斯ウ云フ懸念ヲ以テ私ハ質問ヲ

申上ゲルノデアリマシテ、是ガズツト長イ間

ノ經過ニ依リマシテ、此事業ハ誰ガヤツテモ

儲カル事業デアル、故ニ相當ノ利益ヲ生ム

者ニハ課稅スルノガ當然ダト云フノトハ、

少シク意味ガ違ヒハセヌカ、斯ウ云フコト

ニ付テ伺ツテ見タノデアリマシタガ、併シ餘

リ進ンデ御尋致シマス、或ハ意見ノ相違

ニナルカモ知レマセヌカラ、私ハソレ以上

申サヌデモ宜シウゴザイマス、併シ是ハ所

謂超過所得ノ利得稅トハ、ドウ云フ關係ニ

ナリマスルカ、無論製鐵業ニモ昨年通ツタ

超過利得稅ハ課シテアルト思ヒマスガ、此

處ニ又之ヲ課スルト、二重ノヤウナ關係ニ

ナルノデアリマセウカ、ソレヲ御尋致シマ

ハナイカト思ヒマス、臨時利得稅ハ掛ケテ

アルト思ヒマス、ソレハヤハリ臨時利得稅

ノ觀念ハ御承知ノ通り、此時局ニ依ツテ臨時

ニ法外ノ儲ケガアル者ニハ之ヲ課稅スル、

斯ウ云フコトナノデスカラ、サウ云フ法制

ガ決マレバ、ヤハリ製鐵業モウシテ儲ケテ

居ル者ハ、所得稅ガ掛ツテモ宜イデハナイ

カ、斯ウ云フコトニナルノデス、ソレアル

ガ故ニ何ダカ他ノ一割以下ノ儲ケノ者モ、

大變ニ心配ヲシ始メテ來ルト云フヤウナ御

話デアリマスガ、私ハ此法律ニ依ツテ一割以

下ノ者ヲ課稅シヨウトシテ居ルノデハナイ

ノデアツテ、法ノ精神ガ明ニソレマデハ免稅

シテヤラウト云フノダカラ、何モ疑ヒハナ

イト思フノデス、物ノ獎勵トカ補助トカ云

フヤウナモノハ、丁度子供ガ大人ニナルノ

ヲ助ケルヤウナモノデ、其助ケヤウガ子供

ノ時分ノ助ケヤウト、中年ノ時分ノ助ケヤ

ウト、其度合ガ違フノハ當然ダト思ヒマス、

現ニ獎勵金ハ日本製鐵會社ガ出來ル時分ニ

之ヲ廢シタ、廢シタガ、サウシタラ小サイ

製鐵業者モ困ツテシマツテ、先キガ心配ニナツ

發達ノ程度ヲ見テ、ソレガイケナクナラナ

イヤウニ、進ンデ行クヤウニヤレバ宜イト

思フ、昔カラヤツテ居ルモノヲ、何時マデモ

其程度ニ於テヤラネバナラスト云フモノデ

ハナイ、一割以上ノ儲ケタ者ニ對シテノミ、

免稅ノ特典ヲ廢スルト云フコトニ他ナラヌ

ノデス

○金光委員長 一寸、商工大臣ハマダ他ニ

モゴザイマスシ、赤字公債ノ方ヲ先キニ片

付ケテシマヒタイト思ヒマスカラ、是ハ後

ニ廻シマシテ、サウシテ拓務大臣ヘノ質問

ヲシテ、赤字公債ノ方ヲ先キヘ片付ケテ、

今日上程シタイト思ヒマスカラ、ドウカサ

ウ御願シマス

○松本委員 誰方カラデモ結構デスカラ、

先程ノ方一寸答ヘテ下サイ

○金光委員長 ソレデハ高瀨政府委員

マシタ滿鐵附屬地ニ於ケル課稅ニ依ル租稅

收入ノ見積ニ關シマシテ、御答辯申上ゲマ

ス、十一年度ノ關東局特別會計ノ追加豫算

ヲ歲入ニ計上シテ居リマスル額ハ、七十九

萬圓餘デゴザイマスルガ、是ハ八年度ノ中途カ

ラ課稅スルコトニナリマスノデ、斯ウ云フ

額ニナツタノデゴザイマシテ、之ヲ此十一年

度ニ付テ平年ノ額ニ換算シテ見マス、其

收入總額八百七十二萬餘圓トナルノデゴザイマス、税ノ種類ハ營業稅、營業稅ニハ法人營業稅ト個人ノ營業稅ト二ツアリマス、ソレカラ煙草稅、酒稅、麥粉稅「セメント」稅、以上デゴザイマス

○金光委員長 宜シウゴザイマスカ——末次君

○末次委員 先程ノ御答辯ニ依リマシテ、滿洲ノ高官ニ自分ノ國ノ人間ノ住ッテ居ル所ノ土地ヲ取ッテ、日本ノ移民ニヤルト云フコトハ、非常ニ苦情ガアルト云フヤウナ御話ガアルノデスガ、私ハソレヲ取ッテ吳レト言ッテ居ルノデハナイ、兎ニ角ソレハ滿洲國デ話ヲツケ、サウシテ日本ニ之ヲ提供スルヤウニスルノガ至當デハナイカ、斯ウ云フコトト、ソレカラ拓務大臣ハ引合フカラ宜イデヤナイカ、引合フカラ土地ヲ買ッたら宜イデヤナイカ、斯ウ云フ御話ガアリマシタガ、ソレハ引合フカドウカト云フコトハ、私ハ非常ニ疑問ニ思ッテ居リマス、ト云フノハ、拓務省カラ一人ニ付テ千圓補助金ヲ出ス、引合フデ人ガ喜ンデ行クノニ補助金ヲ出ス必要ガナイト思ヒマス、ケレドモ、ソレハ中々行キ手ガナイ、移民スルノニ非常ニ困難デアアルカラ、ソレデ拓務省デハ千圓ノ補助金ヲ出シテ之ヲヤラウ、斯ウ言ハレル

ノデアラウト思フ、強チ引合フノデハナイ、引合ハナイケレドモ、詰リ日本カラ補助ラ出シテ引合フヤウニシテヤッテ居ル、斯ウ云フ御考デセウガ、考ヘテ見マス、モウ五年ニナッテ殆ド二千戸シカ行ッテ居ナイ、中獎勵シテモ行カヌ、非常ニ引合フナラ幾ラデモ澤山ノ人間ガ押スナ——デ此生活ノ苦シイ時ニハ行ッテ居ルト思フ、其御考ハ少シ違ッテ居ルノデハナイカ、兎ニ角其引合フ、サウ云フ風ニ行キ手ガ何時デモアルナラバ結構デゴザイマスガ、詰リ五年モ掛ッテ僅カ二千戸シカ行カナイノハ、幾ラ獎勵シテモソレダケ出シテヤル金ガナイカラ、コンナニチツトシカ行カナイノダ、斯ウ思ッテ居リマス、ダカラ日本デハ非常ニ移民スルノニ澤山金ガ要ルカラ、ソレデ非常ニ必要ナコトダケレドモ、澤山ナ人間ヤルコトガ出來ナイデ困ッテ居ル、拓務大臣ノ言ハレルノハ斯ウ云フノダラウト思フガ、ドウモ私ハ考ヘルノニ理窟ガナイト思ヒマス、詰リ滿洲國ヲ開イテ貰フ、日本ハ非常ニ人間ガ多イカラ、向フニ行ッテ生活ノ安定ヲ圖ル、兩方一緒ニ得ヲシナケレバナラス、日本ダケ得ヲスルト云フ譯ニハ行カヌ、滿洲ハ日本人ヲ送ッテ貰ッテ、早ク土地ヲ開イテ貰ッテ、色々ナ仕事ヲ始メテ貰フト云フコトガ、早

ク滿洲國ノ文化ノ度ヲ高メルト云フコトニナルノデス、又税金モ其中カラ澤山出テ來マセウシ、其上ニ日本ハ國防ノ費用ハ全部出シテヤル、鐵道ヲ援助シテ架ケテヤル、早ク鐵道ノ架カッテ居ル所デモ人間ガ行カナケレバ、其鐵道ハ暫クスレバ潰レテシマフト云フコトニナルコトハ屹度決マッテ居ル、一人人間ガ住ムト鐵道ニ對シテノ收入ガ幾ラトカ云フ大體ノ數字モ出テ居リマセウカラ、ドウシテモ之ニモ人間ガ要ル、デスカラ鐵道ヲ滿洲國ガドン——發達サセル爲ニモ、亦國防ヲシテ貰フ爲ニモ、皆日本ガ援助シテヤッテ居ルコトダカラ、土地位ハ滿洲國出シテヤラシタラドウカ、ソレガ至當デハナイカト考ヘルガ、拓務大臣ハソレハ無理ダト考ヘラレルノカドウカ、ソレヲ私ハ御尋スル

○永田國務大臣 滿洲ノ移民ハ實ハ滿洲事變ノ起ッタ當初ハ、幾ラデモ彼處ニ收容スルコトガ出來ル、又大勢希望スル者モアルト云フヤウナ感ジヲ、吾々モ幾ラカ持ッテ居ッタ、所ガアチラニ個人移民ナンカ行ッテ居ッテモ、大抵舞戻ッテ來ル、一攫千金ノ考ヲ持ッテ行ッテ者ガヤリ損ッテ舞戻ッテ來ルノハ、已ムヲ得ナイコトデアッタト思ヒマスガ、中々サウコチラデ考ヘタヤウニ、彼處ノ移民ハ易ク行カナイト云フ實情デアッテ、斯ウ云フ

調子デアルト云フト、滿洲事變ヲ起シテ、是ダケノ大仕掛ノ色々ナ事件ノ後デ、チツトモ移民ノ出來ナイコトハ遺憾至極ノコトダカラ、何トカシテ移民ノ出來ルヤウニ能ク調査ヲシテ行カナケレバナラス、斯ウ云フコトデ今日マデ五百戸ガ三回ト、三百戸ガ一回デスカ、ソレデ合セテ千八百戸ダケアチラニ行キマシテ、漸ク其試驗ノ結果ドウニカ居レルヤウニナッテ來タノデ、今日デハ内地ニ於テサウ云フ風ノ狀態ナラバ、行キタイト云フ希望者ハ相當ニアルノデアリマス、ソレデ此狀態ナラバ今カラズツト殖ヤシテ行キタイ、斯ウ云フコトデ本年ノ豫算ハ千戸向フヘ行クコトニナッテ居リマスガ、併シ考ヘテ見マス、千戸ト言ッテモ五人ノ家族ニシテ僅ニ五千入デ、内地ノ人口ガ百万モ殖エテ行ク時ニ滿洲ニ千戸位、ソナコトチヤドウナルカト云フ意見ガアリマス、是ハ御尤ナ意見デアリマスガ、併シ幾ラ澤山ヤッテモ向フガ住メルヤウナ狀態ニナッテ居ラナケレバ居レハシナイノダカラ、サウ云フ點ニ於テ滿洲ノ方デモ土地ヲ只與ヘテヤレバ宜イデヤナイカト云フ御考デアリマスガ、此點ニ付テハ滿洲國ノ法人トシテ滿洲拓殖ト云フモノガ作ラレ、サウシテ滿洲政府ニ於テモソレニ相當ノ援助ヲ與ヘ

テ、日本ノ人間ヲ移住セシムルト云フコトニ付テハ、滿洲政府モ好意ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレデスカラシテ今後ハ出來得ルダケ澤山アチラニ出シタイト思フテ居リマス、土地ノ問題ニ付テハ私モサウ云フヤウニ滿洲カラ只出シテ吳レルト云フコトニナレバ、至極都合ガ好イト考ヘテ居リマスガ、尙ホ其點ハ今ノ御希望ノコトニ付テ篤ト對滿事務局ノ方トモ相談ヲ致シテ見マス

ニ百圓借金ヲ増シテ居ルカラ、向フヘ行ツテヤルト云フコトニナレバ、五年ナリ十年ナリスレバ、貰ッタダケノ土地ハ開キマス、子供ガ出來テモ孫ガ出來テモ、二十町歩モアレバ食ヘルダケノモノハ十分出來ルト思フ、是ガ日本ノ國民生活ノ安定デ、一番大事ナコトデアルト思フ、是ガ又根本ニナルト思フ、ソレデ大分委員ノ方モ御迷惑ダッタト思ヒマスガ、之ヲ力強ク御願スルノデアリマス

人ガ大部分デアリマスガ、勞働階級ノ者ハ撫順炭坑ヲ初メトシテ、八割マデ滿洲人或ハ支那人ヲ使ツテ居ルヤウデアリマス、是ハ無論賃銀ノ關係或ハ體力ノ關係等ニ於テ、彼等ヲ使フ方ガ會社トシテハ利益デアルカモ知レヌガ、併ナガラ多少算盤以外ノ所謂國策關係ヲ考慮シテ、滿鐵ニモ出來ルダケ日本ノ青年ヲ使ハセタラドウデアルカ、サウナリマスト青年ガ多ク行キマシテ、或ハ滿洲人ト結婚スルヤウナコトニナツテ、彼ノ地ニ永住スルヤウニナレバ、自然移民ト云フ状態ニナリハセヌカト斯ウ考ヘルノガ一ツデアリマス、ソレカラモウ一ツニハ今ノ末次サンノ御話ノ通りニ土地ノ關係デアリマスガ、ドウモ今マデノ日本ノ移民ヲ見マ

繩張りヲシタモノガ自分ノ物ニナツテ居ルト云フヤウナ工合デ、實際ニ於テハ日本ノヤウナ土地整理ガ出來テ居ル譯デハナイノデアリマスカラ、果シテドノ程度マデ個人ノ所有權ト云フモノガアルカ、ナイカト云フコトハ頗ル疑ハシイノデアツテ、之ヲ國家トシテ十分ニ整理致シマスナラバ、國ノ土地ト云フモノガマダ相當ニ南ノ方ニモアルモノナリト信ズルノデアリマスガ、斯ウ云フ土地ガアリマスナラバ、是ハ無論滿洲國ノモノデアアルガ、之ヲ日本ニ無償デ貸付スルコトハ當然ト言ツテモ宜カラウト思フ、何モ是ハ他國デアアルカラト云フヤウナ、ソシテ儀禮的ナ言葉ヲ使ハヌデモ、皆日本ノ移民ニ對シテハ無償デ貸付シテ宜シイト考ヘルノデアリマスシ、又假ニ向フノ個人ノ物デアルト致シマシテモ、寧ロ移民ニ對シテ保護トシテ與ヘル金ノ一部デ斯ウ云フ個人ノ土地ヲ出來ルダケ買上ゲテ、現在居ル滿洲人ニ其補助金ヲ與ヘテ、彼等ヲ北ニ移シテ北ノ方ヲ開拓サセ、日本人ハ其南ノ方ニ移住サセルト云フヤウナコトガ、私ハ實際ニ於テ移民ヲ促進スル所ノ方法デハナイカ、ソレヲ只餘リ他國ノ人ニ、ソシテ苛酷ヲ要求ハ出來ヌトカ、或ハ他ニ土地ガアルカラ其處ヘ行ケト云フヤウナコトヲ言ツテ居

ト、又アナタニドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカト云フコトヲ御聞キシナケレバナラヌ、詰リ何處ノ國デモ國ヲ開イテ貰フ時ニハ、ソレヲ開イテ税金ガ取レルヤウナ立派ナ土地ニナルト、大抵吳レテ居ルト思フカラ、日本人ガ滿洲ニ行ツテ初ハドウシテモ人ノ居ラヌヤウナ所ヘ行カナケレバ開ケナイノダカラ、其苦シンダ人間ニソレ位ノ土地ヲ只出シテモ不當デヤナイノダカラ、其邊ハ十分御考下サツテ御交渉願ヒタイト思フ、私ハ是ハ出來ルト思フカラ、唯日本ノ爲政者ガ出來サウデヤナイカト云フコトニナレバ、何トカ出來ヌコトハナイト思フガ、ソレハ引合フヤウニナレバ人ハ澤山行キマス、ソレハ分ツテ居リマス、ソレデ今日本デ百姓シテ居ツテモ、家族ガ四五人居レバ一年

ノ御熱心ナ御希望、御質問ニ對シテハ非常ニ感佩ニ堪ヘナイ所デアリマス、試験移民時代ヲ經過シタ今日、移民ヲ澤山送ルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

皆サン寢食ヲ忘レテ御審議下サイマシテ洵ニ感謝ニ堪ヘマセヌガ、ヤハリ生理作用ト見エマシテ空腹ヲ感ジテ來マシタカラ、成ベク簡潔ニ願ヒタイト思ヒマス——大島君

御注意モアリマシタカラニツダケ愚見ヲ申上ゲテ、拓務大臣ノ御考ヲ伺ツテ見タイト思フ、ヤハリ末次サンノ仰シヤル通りノ移民ニ關スル事項デアリマスガ、向フヘ參ッテ見マス、第一ハ滿鐵ノ總テノ事業ニ對シテ、社員ト云フヤウナ人ハ日本

○末次委員 サウ云フコトデゴザイマス

○永田國務大臣 只今ノ移民事業ニ對シテ

○金光委員長 皆サン寢食ヲ忘レテ御審議

○大島委員 御注意モアリマシタカラニツ

モ、ソレハ單ニ理想論デアッテ、今ノ御話ノ通り之ヲ五百戸ヤ千戸移シテモ、本當ニ僅カナモノデアアル、百万宛増加スル人口ニ對シテ千戸移シテモ何ニモナラヌ状態デアアルカラ、少クトモ日本人ガ一年ニ五万ヤ十萬彼ノ地ニ移住スルヤウニスルノニハ、移住出來ルヤウニ仕向ケナケレバナラヌ、ソレニハ多少國ノ力ニ依ッテモ之ヲ爲シ得ルヤウナ方法ヲ講ジナケレバナラヌト云フ考ヲ私ハ持ツノデアリマスガ、是ハ或ハ大臣トシテハ輕率ニ斯様ナコトニ付テ色々言ハレマス、滿洲國ニ對スル儀禮モアリマセウシ、或ハ又場合ニ依レバ各國ガドシナ考ヲ持ツカモ知レマセヌカラ、餘リ具體的ナコトハ御話出來ヌカモ知レマセヌガ、私ハ斯様ナ愚見ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ、御意見ヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス

○永田國務大臣 御意見ノ程ハ謹ンデ拜承致シマシタ、一番初ニ御述ベニナリマシタ滿鐵ニ使フ勞働者ノ八割マデハ滿洲人、支那人デアルカラ、之ニ日本人ヲ使ッたら宜カラウト云フヤウナ御話ノ點、是ハ私モ滿鐵ノ方デモ相當考ヘテ居ルコトデアルト思ヒマスガ、滿鐵ニ關スルコトハ實ハ從來拓務省ノ所管デアリマシタケレドモ、此頃ノ

官制デハ對滿事務局ノ所管ニナッテ居ルノデ、私カラ色々申上ゲテ置クト又混雜スルトイケマセヌカラ、其方ハ申上ゲナイコトニ致シマス、ソレカラ滿洲ノ北ヘ行カズ南ヘ行ッた方ガ宜カラウ、大體南ノ方ガ氣候ガ暖カデアアルガ、併シ土地トシテハ北ノ方ハ取調ベマシタ結果、必ズシモ惡クナイ、黑河方面ナドハ隨分北ノ方デアアルガ、大豆ガ非常ニ能ク出來ル、サウ云フヤウニ調ベタ結果ガ、北ノ方必ズシモ惡クナイノデアリマス、ソレデ北ノ方ハ今ハ人ガ少クテ、詰リ先住者トノ摩擦軋轢ト云フヤウナ心配ガ少ク、土地モ安クテ簡單ニ手ニ入ルト云フヤウナコトデ、北ヘ行クヤウニナッたノデアリマス、モウ一ツハ朝鮮人ノ關係ガ滿洲ニハアルノデ、朝鮮デハ鮮滿拓殖會社ヲ今度拵ヘルコトニナッテ居リマスガ、ソレハ要スルニ南ノ方ノ朝鮮人人間ヲ北ノ朝鮮ニ移シ、北ノ朝鮮人ヲ出來得ル限リ滿洲ヘ移民セシメルト云フヤウナ状態ニ置クノデアリマシテ、是ハ吾々トシテ決シテ朝鮮人ガ内地ヘ入ッテ來ルコトヲ、特ニ色々ナ意味ヲ以テ阻止スルト云フ意味デハアリマセヌケレドモ、兎ニ角内地ハコンナニ人ガ多イノデ、澤山朝鮮カラ來マス、一層内地デ勞働問題其他色々ノコトヲ起シマスカラ、出來得

ル限リ朝鮮人モ滿洲ノ方ヘ行ッテ貰ヒタイ、斯ウ云フ場合ニ間島方面カラ南ノ方面ニ、大體朝鮮人ガ今大分行ッテ居ルノデアリマス、今後モサウ云フヤウナ朝鮮人モ、アチラニ入レテ行キタイト思ッテ居ルノデアリマス、北ノ方ハサウ云フ各種ノ條件ガ惡クナイノデ、却テ手ニ入り易イト云フ點ヤ、面倒ノナイト云フ點カラ考慮シマシテ、アチラノ方ヲ選ンダヤウナ次第デアリマス、滿洲ノ移民問題ハ洵ニ難カシイ錯雜シタ關係ガアルシ、又氣候其他ノ關係カラ、餘程都合好ク世話ヲシナイト云フト、コチラノ者ガ好ンデ行カナイト云フヤウナ事情モアリマスノデ、軍事的カラ見テ大ニ澤山入レタイ、又人口問題カラ見テモ、大々的ニ移民ヲシタイト希望シテ居リマスガ、實際問題トシテハ、餘程ソレニ能ク世話シナケレバ旨ク行キマセヌノデ、其事情モ能ク御諒解ヲ願ッテ置キマス

○松本委員 簡單ニ伺ヒマスガ、只今拓務大臣ノ御聽キノ通り、關東局ノ當局者カラ附屬地内ノ課税ノ御話ガアリマシタガ、併シ多分附屬地外ノ日本人ガ滿洲ニ服スル結果トシテノ釣合上出來タコトト思ヒマス、附屬地外ニ居住スル日本ノ移民等ハ、如何ナル課税ニ何時カラ服スルコトニナルノデアリマスカ、ソレヲ簡單明瞭ニ御示シテ願ヒタイ

○高山政府委員 只今御尋ノ點ハ、實ハ條約關係デ、外務省ノ關係ニナッテ居リマスガ、唯現在私ノ方デ關係シテ居リマス移民ノ關係ニ付テダケ申上ゲマス、主ナ税ハヤハリ田租ト申シマスカ、土地ノ課税デゴザイマスケレドモ、是ハ開墾地ニ付キマシテハ、大體五年間無税ト云フコトニナッテ居リマス、各地方ニ依ッテ規則ガ違フト思ッテ居リマスガ、大體ノ所五年間無税ニナッテ居リマシテ、其關係デ、移民關係ニ付キマシテハ、格別影響ハナイト考ヘテ居リマス

○松本委員 田捐ハ分リマシタガ、アト房捐トカ或ハ戸別捐ト云フヤウナモノハ、ドウナッテ居リマスカ

○高山政府委員 地方ニ依ッテアルト思ヒマスガ、是ハ極ク輕微ナモノデゴザイマシテ、實ハ私共モ直接ノ關係デモアリマセヌシ、餘リ詳シクハ調べテ居リマセヌガ、其點デ御承知ヲ願ヒマス

○松本委員 直接ノ關係デナイト仰シヤルコトガ、私共理解ガ出來ナイト思フ、移民ヲ御獎勵ナサルトスレバ、其移民ガ如何ナル課税ニ服スルカト云フコトモ先ヅ御考ヘニナッテ、北海道ノ移民デモ、何年間無税ニ

シテ居ル問題モアリマスカラ、其點ヲ一ツツ御考慮ヲ願ヒマス、其次ハ移民ヲ困難トスル一ツノ理由ニハ、教育ノ問題ガアルト思ヒマス、移民ハ一方御獎勵ニナリマスガ、移民ノ子供ノ教育ハドウ爲サルノデスカ

○高山政府委員 移民ノ教育ハ、私共ノ方デヤツテ居リマス移民ニ付キマシテハ、實ハ今年マデハ移民ノ中ノ學校教育ノ經驗ノ有ル人達ガ先生ニナリマシテ、極ク小規模ナ「プライベート」ノヤウナ小學校ヲ作りマシテ、其處デヤツテ居リマスガ、本年アタリカラ段々人數モ殖エテ參リマシテ、是ハ外務省ノ學校トシテ正式ニ認可シテ戴キマシテ、外務省ノ在外子弟ノ學校トシテヤツテ戴クコトニ今年カラナツテ居リマス

○松本委員 私ハサウ云フ一年位ノ目先ノコトデナクテ、所謂行政權委讓ト云フコトニ關聯シテ、此問題ノ見透シヲ承ツテ居ルノデアリマス

○高山政府委員 只今ノ御尋ノ點ハ、教育ノ問題ニ付テハ、マダハッキリシタコトハ決ツテ居ラナイヤウニ承知致シテ居リマスガ、將來ノ問題ト致シマシテハ、在外邦人ノ教育ノ問題ハ、條約ガハッキリシマシテモ、御尋ノ點ニ副フヤウニシテ行キタイト思ツテ居リマス、又サウナルダラウト想像モ

致シテ居ル次第デアリマス

○松本委員 ソレハドウナルカ分ラナイト云フコトハ屬僚ノ仰シヤルコトデ、ドウスルカ、ドウシナイカト云フコトヲ御決メニナルノハ、大臣ガ御決メニナルノデアル、大臣ハ一體在滿邦人ノ教育ハドウナサル積リデアルカ、日本人ノ教育ノ權利ハ依然トシテ御持チニナルガ、先刻綾川君カラ御尋ニナツタ問題ニ付テ、朝鮮人ノ教育ハドウナサルカ、其點ニ付テノ大臣ノ御方針ヲ明瞭ニ承ツテ置キタイ

○永田國務大臣 日本人ノアチラニ於ケル教育ノコトニ付テハ、日本ノ方デ其權利ヲ持ツテ居リタイト思ツテ居リマス、朝鮮人ノ問題ニ付キマシテハ、ドウ云フ風ニスルカ確カト決定ラシテ居リマセヌ

○松本委員 大臣ガ將來行政權ヲ滿洲國ニ委讓シテモ、日本人ノ教育ハ依然トシテ日本ノ手ニ御持チニナリタイト云フ御意見ハ、非常ナ敬意ヲ以テ承ツテ置キマス、是非其御主張ヲ御通シ下サランコトヲ希望シテ置キマス、唯其次ニ朝鮮人ノコトニ付テハ、ドウモ分ラヌト仰シヤル所ヲ見マスト、言外ノ意味ハ自ラ想察ガ出來ルノデアリマシテ、ソコハ先刻綾川君ガ御尋ニナツタヤウニ、非常ナ憂慮ヲ持ツテ居リマスガ、是ハ自

ラ議論ノ問題ニナリマスカラ、又別ノ機會ニ御尋スルコトニシテ、私ハ是デ止メテ置キマス

○綾川委員 大分時間モ経チマシタシ、今松本君カラノ質問ニ御答ニナツタコトデ、モウアレ以上ノ御答ハ出來ナイデアラウト思ヒマス、是非トモ此問題ハ東洋ノ盟主トシテノ我が日本ノ國威ヲ、東洋諸民族ノ上ニ益々感ジサセルヤウナ政策ヲ、拓務省トシテ朝鮮民族ノ爲ニ御盡シニナランコトヲ切望シテ止マヌ次第デアリマス

○金光委員長 拓務大臣ニ對スル御質問ハゴザイマセヌカ——ソレデハ是デ質問ハ終了致シマシタ、午後ニハ討論ニ入ツテ採決致シタイト存ジマス、午後二時三十分マデ休憩致シマス、御苦勞様デシタ

午後零時五十分休憩

午後三時二十分開議

○金光委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、質疑ヲ繼續致シマス——木村君

○木村委員 昭和九年法律第七號中改正法律案ニ付テ御伺ヒ致シテ置キタイト思ヒマス、此昭和九年ノ法律第七號ハ、滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲ニ、政府ガ額面五千萬圓ヲ限り公債ヲ發行スル、

斯ウ云フ法律デアリマスガ、今回更ニ八百四十萬圓ヲ増加スル、斯ウ云フ改正案ニ相成ツテ居リマス、ソコデ御伺ヒテ置キタイコトハ、普通滿洲事件ノ行賞ト云フモノハ、大體一段落ハ付イタ、斯ウ云フ觀念デ居ツタノデアリマスルガ、即チ昭和九年ノ法律ニ依リマシテ、約五十八萬人ノ行賞ヲ行ハレタ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソコデ今回又先般政府委員ノ説明デモ、其後事件ガ延長シ、使用人員ノ増加ヲ必要トスルニ伴ヒ云々ト、斯ウ云フヤウナ御説明ニナツテ居リマス、ソコデ御尋致シタイコトハ、昭和九年ノ法律御制定ノ時ハ、一體何時迄ノ人員ニ對シテ行賞ヲ行フカ、行賞ヲ行フ人員ヲ定メラレル其時期ハ、何時迄トサレタカト云フコトヲ御伺致シタイト思ヒマス、其次ニ今回ハ然ラバ又何時迄ヲ限ラレタノデアルカ、第三ニハ今後モ尙ホ滿洲事件ニ關シ、一時賜金ヲヤラレル積リデアアルカドウカト云フコトヲ、先ヅ第一ニ御伺致シタイト思ヒマス

○賀屋政府委員 只今ノ御質問ニ御答申上ガマス、昭和九年ノ法律ヲ御協贊ヲ得マシタ時ハ、事件始マリマシテ以來、昭和九年三月末迄ノ時期ヲ大體ノ標準ト致シマシテ、其間ニ功績アリタル者ニ授與サレル、

○賀屋政府委員 只今ノ御質問ニ御答申上ガマス、昭和九年ノ法律ヲ御協贊ヲ得マシタ時ハ、事件始マリマシテ以來、昭和九年三月末迄ノ時期ヲ大體ノ標準ト致シマシテ、其間ニ功績アリタル者ニ授與サレル、

○賀屋政府委員 只今ノ御質問ニ御答申上ガマス、昭和九年ノ法律ヲ御協贊ヲ得マシタ時ハ、事件始マリマシテ以來、昭和九年三月末迄ノ時期ヲ大體ノ標準ト致シマシテ、其間ニ功績アリタル者ニ授與サレル、

○賀屋政府委員 只今ノ御質問ニ御答申上ガマス、昭和九年ノ法律ヲ御協贊ヲ得マシタ時ハ、事件始マリマシテ以來、昭和九年三月末迄ノ時期ヲ大體ノ標準ト致シマシテ、其間ニ功績アリタル者ニ授與サレル、

○賀屋政府委員 只今ノ御質問ニ御答申上ガマス、昭和九年ノ法律ヲ御協贊ヲ得マシタ時ハ、事件始マリマシテ以來、昭和九年三月末迄ノ時期ヲ大體ノ標準ト致シマシテ、其間ニ功績アリタル者ニ授與サレル、

斯ウ云フ豫定ヲ以テ當時ノ積算ヲ致シマシ
タ譯デアリマス、當時ニ於キマシテハ滿洲
事件ノ何ト申シマスルカ、大體ハ片付イタ、
滿洲國ノ創立ヲ見マシテ、一應茲ハ段落ト
考ヘマシテ要求ヲ致シマシタ譯デアリマ
ス、然ル所其後ニ於キマシテモ、滿洲國ノ
治安ハ餘程回復ハ致シマシタガ、匪賊討伐
等相當勞苦アリ、又隨テソレニ關スル功績
ノアル事態ガ起リマシテ、其事態ハ行賞ヲ
要スル事態デアル、大體ニ於キマシテ其程
度ハ以前ノ御協贊ヲ得マシタモノノ程度ト
ハ異リマスルガ、ヤハリ行賞ヲ要スル、斯
ウ云フ事態ガ續キマシタ爲ニ、昭和十年末
マデ、詰リ二箇年間ヲ大體ノ標準ト致シマ
シテ、其間ニ於ケル功績アル者ニ授與サレ
ルト云フ意味デ、今回ノ追加ヲ致シマシタ
次第デアリマス、尙ホ今後ハドウデアるか
ト云フ御尋デアリマスルガ、今後ニ於キマ
シテ滿洲ノ治安ガ一日モ早ク全ク安全ナル
コトヲ希望致シテ居ルノデアリマスガ、併
シ將來ノコトデアリマスカラ、果シテ如何
様ニ相成リマスルカ、今後ノ事態如何ニ繫
リマスノデ、更ニモウ一度行賞ノ追加ガ有
ルカ無イカト云フコトニ關シマシテハ、吾
吾ハ何レトモ明言ハ致シ兼ヌル次第デアリ
マス

○木村委員 ソコデ第二ニ御質問致シタイ
コトハ、此法律ニアリマスル滿洲事件ニ關ス
ル一時賜金トシテ云々ト、斯ウアリマスガ、
滿洲事件ト云フモノヲドウ云フ意味ニ御解
釋ニナッテ居ルカ、御伺ヒシタイト思ヒマス
○賀屋政府委員 滿洲事件ト云フ言葉ノ意
味デアリマスルガ、昭和六年九月ニ起リマ
シタアノ滿洲事件以來、引續キマシテ今日
マデ滿洲ニ於ケル問題ヲ中心ニ致シテ居リ
マスル事件ヲ、滿洲事件トシテ、政府ハ色
色ナコトニ其名前デ取扱ッテ居リマス、豫算
ニ致シマシテモ、先日衆議院ニ於テ通過致
シマシタ十一年度ノ豫算ニ於キマシテモ、
ヤハリ是ハ滿洲事件ト云フ名前ヲ以テ其科
目デ以テ豫算ヲ計上致シテアリマス、又其
經費ヲ支辨致シマスル財源タル公債モ、本
委員會ノ審議ニ付託サレテ居リマスガ、滿
洲事件費ノ公債トシテ取扱ッテ居ル次第デ
アリマス、尙ホ是ハ政府ハサウ云フ名前ト
シテ取扱ッテ居リマスルガ、ソレガ適當デア
ルカ否カト云フヤウナ意味ノ御疑問モアル
カト思ヒマス、之ニ付キマシテハ先日豫算
總曾デドナタカノ御質問デアツカト思ヒ
マスガ、大藏大臣モ此滿洲事件費ト云フモ
ノノ豫算ノ組ミ方其他ニ付テハ、研究ヲ要
スルト云フ意味ノコトヲ答辯サレタト思ッ

テ居リマスルガ、是ハドウモ政府ノ方ニ於
キマシテモ、是ガ適當ナル名前デアルトモ
考ヘテ居リマセヌ、然ラバ之ヲドウ云フ風
ニ變ヘルカト云フコトニ付キマシテモ、名
案モアリマセヌ、全ク自由ノ立場カラ考ヘ
マスト云フト、モウ滿洲事件モ濟ンダノデ、
今ハ其後ノ問題デアル、續キデアルガ、別
ノ問題デアルト云フ風ナ御考ニナルト云フ
コトモ、一應御尤ト存ジマスルガ、新ナル
命名ハドウモ適當ノモノガ見當リマセヌ、
貴族院ニ於キマシテモ、殊ニ海軍ノ滿洲事
件費ノ如キモノハ、主トシテ使ハレル場所
ハ何處カト申シマスト云フト、滿洲デアリ
マセヌノデ、陸軍ノ滿洲事件費ヲ滿洲事件
費ト稱スルヨリモ尙ホ一層不適當ハナイ
カト云フ意味ノ御意見モ、是ハ先年來アル
ヤウデアリマシテ、御尤ト思ッテ居リマス
ガ、ドウモ適當ナ名前ガアリマセヌノデ今
日マデ續イテ居ルヤウナ次第デアルノデア
リマス、尙ホ是ハ名前ノミナラズ、豫算ノ組
ミ方其他ニ致シマシテモ、或ハ近キ將來ノ
中ニ於キマシテ、相當ノ變更ヲ加フル必要
ガ起ルカモ知レマセヌガ、マダハッキリハ申
上ゲラレマセヌ、隨テ又名前ガ變ルヤウナ
事態ガ起ルカモ知レマセヌ、餘リ好イ例ト
シテ申上ゲルノデアリマセヌガ、御承知

ノ通りニ、大正三年事件ト申シマス例ノ青
島事件デアリマスガ、サウ云フ名前デ、其
後恐ラク十年以上モ續ケテ計上サレタモノ
モアルノデゴザイマス、是等モ途中デ名前
ヲ變ヘマスル案ガアリマセヌノト、兎ニ角
ソレデ濟ミマシタモノデスカラ——ソレデ
洵ニ御尤ナ御質問ト存ズルノデアリマスル
ガ、少クトモ本年ハ此名前ニ於テ扱ッテ行
キタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデア
リマス、左様御諒承願ヒタイト存ジマス
○木村委員 先程ノ御説明カラ考ヘマスル
ト、此滿洲ノ治安ノ維持ト云フコトハ、日
滿議定書ノ關係カラ見マシテモ、日滿兩國
ガ共同ノ責任ガゴザイマスルシ、吾々ガ今
日ノ情勢カラ考ヘテ見マシテモ、匪賊ノ討
伐ト云フコトハ長ク續クモノデアラウト、
斯ウ云フ感じガ致スノデゴザイマス、隨ヒ
マシテ今主計局長カラ御述ニナリマシタヤ
ウニ、私共ハ此名稱ニ付テ、政府ニ於カレ
マシテハ篤ト考慮セラレル必要ガアルノ
デハナイカト思フノデアリマス、丁度政府
當局モ同様ノ御意見ノヤウデアリマスルカ
ラ、十分御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス
○金光委員長 ソレデハ暫時休憩ヲ致シタ
イト存ジマス、都合ニ依リマシテ四時マデ
休憩ヲ致シマス

午後三時三十四分休憩

午後四時三十分開議

○金光委員長 是ヨリ開會致シマス、昭和十一年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、昭和十一年勅令第七號、承諾ヲ求ムル件、昭和十一年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ニ屬スル資金ノ繰替使用等ニ關スル法律案、昭和七年法律第一號中改正法律案、昭和九年法律第七號中改正法律案、對支文化事業特別會計法中改正法律案、此六案ヲ議題ニ供シマス、是ヨリ討論ニ入りマス

〔贊成者起立〕

○金光委員長 多數、仍テ原案通り可決確定致シマシタ——次ニ昭和十一年勅令第七號、是ハ承諾ヲ求ムル件デアリマス、此承諾ニ贊成ノ方ノ御起立ヲ求メマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り承諾致シタコトニ決定致シマシタ——昭和十一年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ニ屬スル資金ノ繰替使用等ニ關スル法律案、原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ求メマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——昭和七年法律第一號中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——昭和九年法律第七號中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 外ニ御發議ガゴザイマセヌカ——ゴザイマセヌケレバ、是ヨリ採決ニ入りマス、採決ハ一案ヅツ採決ヲ致シマス

○金光委員長 昭和十一年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○金光委員長 起立多數、仍テ原案ノ通り可決確定致シマシタ

〔委員長退席、木村委員長代理著席〕

○木村委員長代理 大島君先ニオヤリデスカ

○大島委員 時間モアリマセヌコトデスカ

ラ極ク簡單ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、先

程カラ申シマス通り何ト云ッテモ事業家ハ

臆病ナモノデアリマスルカラ、所謂利益ノ

ナイ所、或ハ其事業ガ確實デアル、儲カル

ト云フ見定メガ付カヌケレバ其事業ニ投資

スルコトヲ躊躇スルコトハ、是ハ申スマデ

モナイノデアリマス、隨テ斯様ナ法案ヲ出

シマスルト云フト、必ズ彼等ハ不安ニ陥

テ、頓挫ヲ來ス、或ハ頓挫トマデ行カナク

テモ製鐵事業ノ運営ガ遅々トシテ進マナイ

ト云フヤウナ状態ニナルデアラウト思フノ

デアリマスガ、兎ニ角一朝有事ノ場合ニ今

日ノ状態ヲ以テシテ、尙且十分ニ何トカシ

得ルト云フ確信ガアリマスルカ、其點ニ付

テ大臣ノ御所見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマ

ス

○小川國務大臣 事業家ハ確實ナ儲ガナケ

レバ仕事ヲ進メテ行カヌトカ、或ハ其場合

ニハ事業ヲ擴張セヌトカ云フヤウナ、サウ

云フヤウナ御心配デアルヤウデスガ、私ハ

一割以上ヲ儲ケタモノニ其超過分ダケニ課税ヲスルカラト云ッテ、其處ニ確實ナル儲ガ

ナイトハ限ラナイト思フノデアリマス、ソ

シナコトヲ言ッたら外ノ事業ハ隨分税ヲ課

ケラレテ、一割ニナラナクテモ、ウント課

ケラレルノダカラ皆興ラヌヤウナモノデ

ス、一割以上ノ儲ガアレバ超過額ニ課ケル

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

ト云フコトハ、日本デアレバ相當法外——

如何ニ拘ラズ、今日ハ鉄鐵ハ自給自足ニナッテ居リマセヌノデスカラ、其御心配ハ此課税問題ニハ關係ガナイト私ハ思フノデス

○大島委員 私ハ課税問題ニ重大ナ關係ガアルト思フノデアリマスルガ、今ソレハ意見ノ相違ニナル點モアリマスルカラ、是以上ハ申上ゲマセヌガ、

〔木村委員長代理退席、委員長復席〕

是ハ或ハ商工大臣ト致サレテモ今日ノ我國ノ製鐵ノ實情カラ行キマシテ、漸ク今芽生ヘテ參ツタモノデアアルカラ、尙一層發展セシメナケレバナラヌト云フコトニハ是ハ異議ハナイノデアリマスルカラ、左様ニ考ヘマスト、大體此案ナルモノガ前内閣ノ、所謂高橋財政ニ於テドウシテモ公債漸減デナケレバナラヌト云フ建前カラ、色々ノ豫算編成ノ技術上カラ行キマシテ、何カニ財源ハナイカト云フ點ニ注意サレテ此案ヲ作ラレタノデハナカラウカ、サウシテソレガ又現内閣ハ其通り踏襲サレテ此案ガ出タノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスト、若シ私ガ考ヘルヤウナモノト致シマスレバ、今日ノ財政——馬場財政ハ大分趣キヲ異ニシテ居リマシテ、公債或ハ已ムヲ得ザルモノニ對シテハ必シモ漸減ヲ唱ヘナイト云フコトモ言ハレマスルシ、斯様ニ考

ヘテ見マスルト、僅カ二百万圓位ノ稅額ヲ取ラウト云フコトノ爲ニ、益、發展シ掛ラウトシテ居ル、本當ニ十分ニ發展シテ見定メ

ノ付イタ事業デアアルナラバ宜シイガ、今迄モ隨分熔鑪等ニ於テハ一時ヤッテハ又暫ク休ムト云フモノモアツタ、例ヘバ室蘭製鐵所アタリニ於テハ、長イ間熔鑪ヲ休ンデ居ッタト云フヤウナ事情モアツテ、漸ク此

二年、二三年發展シテ參ラントシテ居ル所ノ此モノニ對シテ、課税ヲシナケレバナラヌト云フ程、窮迫ノ事情ガアルトハ私ハ思ハナイノデアリマス、是ハ全ク前内閣ガ、財源ヲドウニカシテ抽出シヨウト云フコトニ、基因シタ案デアアルト思フノデアリマス、隨テ今日ハ大部財政方針ニ付テモ違ッテ居ル所ノ意見ヲ、現内閣ハ持ッテ居ルノデアリマスカラ、製鐵事業ナルモノガ、洵ニ國防上カラ行ッテモ重大ナルコトニ鑑ミラレマシテ、此案ニ付テハ尙ホ十分ニ検討サレマシテ、此臨時議會ニ必シモ通過セシメナクモ、或ハ又通常議會アタリニ、十分見定メテ付ケテ御研究ノ上、御出シニナルト云フヤウナ御考ヘハナイデアリマセウカ、私ハ此點ヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス

○小川國務大臣 成程此案ハ既ニ前内閣ノ時分カラ出來テ居ッタモノデアリマス、ソレ

ハ豫算ヲ編成スル折ニ、高橋財源ガ色々ノ方面——各省ニ財源提供ヲ迫マラレタカモ知レマセヌ、或ハ是モ其一ツカモ知レマセヌケレドモ、ソレハ豫算編成ノ手續ノコトデアリマス、デ此處ニ出マシタ案ハ、必シ

モ豫算編成ノ手續ニ關聯シテ、考ヘナケレバナラナイ問題デハナイ、此案自體ガ不合理ナモノデアレバ、ソレハ大ニ非難ヲセラレテモ宜シイデアリマセウカ、此案自體ヲ御取リニナリマシテモ、日本ノ今日ノ社會

思想カラ考ヘマシテモ、私ハ正シイモノダト思フ、國民生活ノ安定、社會不安ノ一掃、斯ウ云フヤウナ時ニ當リマシテハ、相當ニ儲ケタモノハ國家ニ租稅ニ依ッテ御奉公スル、儲ケナイ非常ニ困ッテ居ルモノハ助ケテヤル、ソレガ私ハ社會正義ニ適フモノダト思フ、而モ轉ビサウニナッテ居ル製鐵事業家ニ課ケルノデハナイノデスカラ、製鐵事業課稅ト考ヘラレテハ困ル、飽ク迄モ正常ノ利益以上ノモノヲ儲ケテ居ルモノノミニ、免稅ノ特典ヲ止メル、是ダケナンデスカラ、製鐵事業ニ課稅々々ト斯ウ言ハレルト、ソコニ非常ニ世間ノ人ヲ惑ハセルモノガアルト思フカラ、此觀念ヲハッキリシテ戴ケレバ、此法律案其モノガソナナ不當ナモノデアナイト云フコトヲ、御諒承シテ戴ケルデア

ラウト信ズルノデアリマス

○大島委員 モウ一ツダケ、政府委員デ宜シウゴザイマスカラ御伺ヒ致シタイ、是ハ資本ノ百分ノ十トナッテ居リマスルケレドモ、資本ト申シマシテモ鉄鐵ハ鉄鐵ダケ造ルベク別ニヤッテ居リマスルナラバ、直チニ分ルノデアリマスルガ、必ズ會社ハ色々ノ事業ヲ共ニヤッテ居ルト云フヤウナ場合ガ

多イト思フノデアリマスガ、サウ云フ場合ニハ果シテ此資本ノ算定ハドシナ工合ニ爲サルノデアリマスルカ、又所得又ハ純益ト云フコトニナッテ居リマスルガ、其純益ト云フコトハ、相當償還等ニ對スル見方ニ依リマシテハ、殆ド純益ガアルヤウニモナリ、ナイヤウニモナル、熔鑪爐一ツ造ルニモ大資本ヲ要スルノデアアルカラ、是ノ償還年次ノ如何ニ依リマシテ、純益ガ出タリ出ナカッタリ、大變ノ相違ヲ來スト思フノデアリマスト、此點ハドシナ工合ニ御取扱ニナルノデアリマスガ、之ヲ御伺シテ見タイ

○松隈政府委員 只今大島委員カラ御尋ノアリマシタ資本金ノ計算ノコトハ、稅務ニ關スルコトデアリマスルカラ、一應私カラ御答申上ゲタイト思ヒマス、資本金ノ計算ニ付キマシテハ免稅事業ト然ラザル事業トヲ兼營シテ居リマスルモノニ付キマシテ

ハ、免稅事業ニ相當スル資本金ヲ、適宜見積リ計算スルコトニ致シマシテ、サウシテ其免稅事業ニ屬シマスル資本金ヲ計算致シマシタ上、其一割超過ニ相當スル部分ト、然ラザル部分トデ、又資本金ヲ見積リ計算シテ、一割超過部分ニ對スル課稅ヲスルト、斯ウ云フコトニナッテ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○大島委員 サウスルト實際問題トシテハ、大藏省カ乃至ハ稅務署デ以テ、査定ヲスルノデスカ

○松隈政府委員 資本金ノ計算ニ付キマシテハ、製鐵業獎勵法施行規則ノ命令デ、大體所得稅法ニ於キマシテモ、免稅事業ト然ラザル事業トヲヤッテ居リマスカラ、資本金計算ノ方法ガ規定シテアリマスカラ、大體ソレト同様ノ規定デ、製鐵業法施行規則ニシタイト考ヘテ居リマス

○大島委員 是デ宜シウゴザイマス

○金光委員長 倉元君

○倉元委員 大島君ノ質問ニ對スル商工大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、大體御考ノアル所モ略々推測スルコトガ出來マシタ、併ナガラ御承知ノヤウニ、此鐵國策ハ洵ニ重大ナル、國ニ取ッテ洵ニ大キナ問題デアルト思ヒマス、今日ノ時局カラ考ヘマスト航空機、

石油、鐵、此三ツノ事業ト云フモノハ、國家ノ安危ニ關スル事業ダト私ハ思ッテ居ル、殊ニ普通一般ノ産業ノ是ガ根幹トナッテ、骨トナリ動脈トナッテ働イテ居ルノデアリマスカラ、此政策ノ根本ニ罅ガ入ルト云フコトハ、一國ノ産業ヲ、極端ニ申上ゲルト云フト、危殆ニ陥ラシムル一步ヲ踏出シタト申シテモ、私ハ過言デヤナイト思フ、主管大臣トシテハ此政策ヲ御指示ナサルコトニ付テハ、最モ忠實デナケレバナラヌト思フ、アノ二十三億ノ大豫算ノ中デ二百万圓ノ金ノ歲計ノ辻褄ヲ合スル爲ニ、御附合ヒニ此金ヲ御出シニナリ、之ヲ御承諾ニナルト云フコトハ、私ハアなた方ノ御立場カラ考ヘテ、可哀相ニモナッテ來ル、アなたハ御承知ノヤウニ一流ノ財政家デアリ、經濟家デアルカラ、ココラノコトハ私共ガ喋々申上ゲナクテモ、百モ御承知ノ筈デアル、私ガ大藏大臣ニ午前モ申上ゲマシタヤウニ、二百万圓位ノ金ハ二十三億ノ千分ノ一ニモ當ラナインダカラ、其中デ各省デ按分デ少シ御儉約ナサレバ、十分私ハ出テ來ルト思フ、ソレ位ノ御主張ハ閣議デモ堂々ト御ヤリマナッタコトカト、私共ハ想像スルノデアリマスカ、ソレモ御聞入レガナカッタ、午前中ノ軍部兩大臣ノ私ノ質問ニ對スル御答ハ、製

鐵ノ原則タル一貫作業ヲヤル政策ヲ遂行スル、之ニ依ッテ自給自足ノ目的ヲ達スベク、私共ハ其遂行ヲセナケレバナラヌト思ッテ居ルト云フ御答辯デアッタ、之ヲ考ヘマストト此時局柄、是ハ商工大臣トシテ何處マデモ此政策ニ一步デモ罅ガ入ッテ、世間ノ人ガ疑惑ヲ持ツト云フヤウナコトデハ、甚ダ國家ノ爲ニ悲マナケレバナラヌ、商工大臣ハ斯ウ云フコトヲ仰シヤルダラウト思フ、今マデ大島君ニ御答辯ニナッタ其要旨カラ考ヘマスト、頻ニ枝葉末節ノ、一割ノ利益率、其以上ニ當ル者ニ課稅スルノデアルカラ、是ハモウ社會正義ノ上カラ考ヘテモ當然デヤナイカ、ソレハ一應其形ノ上カラ見レバ、其課稅ノ均衡ト云フヤウナ問題カラ考ヘテ行クナラバ、ソレハアなたノ御議論ノ如クデアリマセウ、併ナガラ此國家ノ基本ノ大事ナ國策ト云フモノヲ遂行スルト云フ上カラハ、サウ云フ末節ノ問題ニ私ハ四ハルベキ問題デヤナイト思フ、唯大衆ニ對スル一ツノ氣兼ねノ爲ニ、遠慮ノ爲ニ、其國策ヲ曲ゲテ僅カナ金ヲ取ッテ、一般業者ノ、何ト申シマスカ、事業熱ト申スカ、ソレヲ挫ケサシテシマフト云フコトハ、私ハ大島君ノ言葉ヲ借リテ言ヘバ、折角今芽生エラシテ或ル程度マデニ發達セントシテ居

ル、自給自足ノマダ半分ニモ達シテ居ラス、漸ク鉄鐵ノ生産ハ二百一十一万、所要高ハ四百六十万、ソレニモ拘ラズモウ是デ自給自足ニ稍、近イ所マデ行ツタカノ如キ御考ヲ以テ、之ニ課稅シテモ差支ナイト云フコトハ、唯其利益ヲ擧ゲテ居ルモノノ一部課稅ノ均衡、或ハ公平トカ云フ立場カラ、正義觀念カラ考ヘレバ、アなたノ御議論ノ通りデアリマセウ、ケレドモ之ヲ一國ノ國策ノ大事ナ根幹トナル事業ガ、罅ガ入ルト云フコトニハ換ヘラレス、斯ウ御考ニナルコトガ私ハ至當デヤナイカト思フ、之ヲ先ヅアなたノ御考ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○小川國務大臣 私ハ鐵國策ニ付テ非常ナ熱意ヲ持ッテ居ルコトハ何人ニモ劣ラヌト、サウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、今日午前ニ軍部大臣カラ御話ガアッタヤウナ氣持ハ、私モ同ジヤウニ持ッテ居リマス、ソレデ鐵國策ニ付キマシテハ、今實ハ關係各省ト協議ヲシテ居リマシテ、今ノ現狀ニ即シテ——今マデモ鐵國策ニ付テノ研究モアリマスケレドモ、又現狀ニ即シテ鐵國策ヲ檢討シテ見ヨウ、斯ウマデカシテ居ルノデアリマス、其必要ニ依ッテハ如何ナル方法ヲ以テモヤルト決心シテ居リマスカラ、其私ノ目標トシテ居ル所ハ、一先ヅ御諒解ヲ願ヒタイトデ

アリマス、今日實ハ御話ノ通り鉄鐵ガ足り
ナイノデス、是ハ日本製鐵會社ヲ拵ヘマシ
テ、ソレデ相當行ケルト思フタノデアリマ
スケレドモ、何分ニ軍需工業ノ盛シナコト
ニナツタノガ一ツ、又一ツハ産業ガ盛シニ
ナツテ機械製造等ガ非常ニ發達ヲ遂ゲテ來
マシテ、ソレデ鐵ノ需要ガ盛シニナツテ來
タ、片方ニ鐵ヲ製造シテ居テモ足りナク
ナツテ來タ譯ナシカ、此現狀ハ以前日
本製鐵會社ヲ拵ヘル時分トハ、又一種違ッテ
居ルト思フノデス、是ガ故ニ日本製鐵ダケ
ニヤラスト云フヤウナ氣持ガ、嘗テハアツタ
カモ知レマセスケレドモ、其外ノ人モ、所
謂「アウトサイド」ト言ヒマスカ、ソレニ
モマア熔鑛爐ヲ許シタラ宜イデヤナイカト
云フヤウナ氣持デ、此間モ許シタノデアリ
マス、皆現狀ニ即シテ鉄鐵ヲ成タケ早く自
給自足ノ所ヘ持ッテ行キタイト云フ考ナノ
デアリマス、ソレハ私ガ色々ナ方面デヤッテ
居ルコトヲ御考ヘ戴ケバ、此製鐵國策ニ持ッ
テ行ッテ、何ダカ熱意ガナイト云フヤウニ御
考ニナルコトハナカラウト思フノデアリマ
ス、デ今茲ニ製鐵業獎勵法中改正法律案ヲ
出シテ、一割以上儲ケテ居ル者ニ、其超過
額ニ對シテ課税スルト云ツタ所デ、其大方針
ガ弛ム譯デヤナイノデス、ソレハモウ少シ

モ動イテ居ナイト私ハ思フノデアリマス、
何か一寸之ヲヤッタラ、製鐵國策ニ鍊ガ入ッ
タト云フヤウナ御話デアリマスルケレド
モ、私ハ寸毫モ鍊ガ入ッテ居ナイト思フノ
デス、是アルガ故ニ製鐵事業ガ出來ナイヤ
ウニナルモノデヤナイデス、唯一割以上ヲ
儲ケタ者ニ課シタカラト言ッテ、其以下ノ者
ハ課セラレナイノデスカラ、以前ト同ジナ
ノデスカラ、其弱イ者ニ惡イ影響ガアルト
云フヤウナ御話カト思フノデスガ、ソレハ
斷ジテナイノデス、一番強イ儲カッタ者ニ
課税シタカラト言ッテ、其事業ガ惡クナルト
云フコトハナイ譯デス、ダカラ製鐵國策ニ
何處ニモ鍊ガ入ッテ居ナイト私ハ考ヘルノ
デス

○倉元委員 ソレハモウ度々大島君ノ御質
問ニ依ッテ伺ッテ居リマス、サウ云フ細カイ
コトヲ御論ジニナルコトヲ私共ハ避ケタイ
ト考ヘマス、モウ少シ根本ニ入ッテ、アナタ
ノ信念ヲ茲ニ御披露ニナル方ガ、商工大臣
ニ相應ハシイ御答辯デヤナカラウカト私ハ
思フノデス、アナタガ御就任匆々熔鑛爐ノ
御認可ニナツタ其勇斷ニ付テハ敬意ヲ表シ
テ居リマス、其御心持デアレバ、今回ノ此
課税ト云フヤウナ小サナ——アナタ方カラ
御考ニナルト、サウ云フ御議論デ、小サナ

問題ニ扱ハレテ、何等當業者ニ影響ヲ及ボ
サナイ、製鐵業ニ何等影響ナシトスウ云フ
ヤウニ御斷定ニナリマスレドモ、實際ニ
其事業ノ衝ニ當ッテ居ル者ハ、非常ニ敏感デ
アリマス、又非常ニサウ云フコトハ算盤ヲ
彈クコトガ早イノデス、机ノ上デ御考ニナッ
テ、此程度デ斯ウ行クノダカラ、是ダケハ
儲カッテ居ルカラ、是位ノコトハ當然ダト云
フ其御考ノヤウナ風ニハ、當業者ハ考ヘマ
セヌ、況ヤ利益ノナイ方面ノ人程脅威ヲ感
ズル、サウ云フヤウナ利益ガアツテ、資本モ
澤山アツテ、利益ヲ擧ゲツアル者ノ其事業
状態ヲ見テ、吾々モアノ程度マデ進ミタイ
ト思ッテヤッテ居ル、進ンデ行キ居ルト云フ
ト、モウ一割チヨット出レバ直グニ其出タダ
ケニハ課税ガ來ルゾト云フヤウナ感ジヲ持
タセルコトハ事業ノ實體ニ障ラヌニシテ
モ、非常ニ此事業ヲ促進スル上ノ心持ニ、
大變ナ違ヒガ生ズル、アナタ御自身御述ベ
ニナリマスルヤウニ、マダ鉄鐵ノ供給ガ十
分デナイ、私モ縷々此點ヲ述ベテ居リマス
ガ、ソレダケ御承知デアツテ、マダ自給自足
ノ半分ニモ達シテ居ラヌト云フ現狀ヲ御覽
ニナルト、此儲カル者ニ課税スルコトハ、
何モ差支ナイト云フヤウナコトガ言ッテ居
レル時期デヤナイト私ハ思フ、然ラバ今度

不景氣ニナツテ、一朝不景氣ニナツタ場合ニ
ドウ云フ御處置ヲ執ルノデアルカ、ソレカ
ラ又不景氣ノ場合ヲ考ヘルト同時ニ、アナ
タハ永久ニ何等ノ國家ノ重大事ガ起ラヌヤ
ウナ、大島君ニ對スル御答辯振リデアルケ
レドモ、今期議會ノ軍部方面ノ御答辯ヲ綜
合シテ考ヘマスルト、何時國家ノ一大事ガ
起ラヌトモ限ラレヌヤウナ風ニ考ヘラレル
節ガアル、サウ云フコトヲ考ヘマスルト、
某國ト若シサウ云フ悲ムベキ事態ガ發生シ
タコトヲ想像シマスルト、今外國カラ「ス
クラップ」百七十萬噸、鉄鐵ヲ六十萬噸、
サウ云フヤウナ原料ヲ輸入シツツアル此狀
態ニ、ドウ云フ變化ガアルカ、恐ラク層鐵
ノ如キハ、亞米利加ヲ主トシテ其他一二ノ
國カラ入ッテ來マスガ、是等ノ國ガ果シテサ
ウ云フ場合ニ、好意的ニ之ヲ日本ニ供給ス
ルカドウカ、私共ハ不可能ナコトニナリハ
セヌカト虞レルノデアリマス、斯ウ云フ場
合ノ處置ニ付テ、ドウ御考ニナツテ居リマス
カ、或ハ不景氣ノ場合ニハ、此五百萬噸一
基ニ付テ一千万圓モ要スルヤウナ、固定大
資本ヲ要スル事業ノ關係カラ考ヘマシテ、
一朝不景氣ガ襲來シマシタ時ニハ、ドウ云
フ風ニ此事業ニ對シテノ御方針ヲ御持チニ
ナルカ、唯當面此時局ノ事態デ、幾ラカ相

當ノ利益ヲ擧ゲテ居ル、ダカラ是ハ社會正義ノ觀念カラ言ヘバ、サウ云フ一割以上ノ利益ニ對シテ課税スルコトハ當然デアアル、斯ウ云フ方面カラバカリ御考ニナッテ居ルト云フコトハ、甚ダ私共ハ此重大國策ノ遂行ノ上ニハ相應シイ御考デアアルマイ、斯ウ云フヤウニ考ヘマス、一朝事アル場合ノ御處置、竝ニ不景氣ガ襲來シテ非常ニ損ヲスルト云フヤウナ情勢ニナツタ場合ノ此事業ニ對スル政府ノ方針ヲ伺ッテ置キタイ

○小川國務大臣 一寸倉元君ノ質問ニ付キ

マシテ、私ハ根本ノ考ヘ方ガ或ハマダ御承知戴ケナイノデハナイカト云フコトヲ處レルノデアリマス、製鐵事業バカリデハアリマセヌ、如何ナル産業ニ付テモ政府ガ助長獎勵シヨウト致シマスレバ、其事業ノ發達ノ程度ニ應ジテ適切ナ方法ヲ講ズル、私今日午前中ニ人間ニ譬ヘテ申シタト思ヒマシガ、丁度幼稚ナ子供ノ時代ト、ソレカラ少シ大キクナツタ青年、壯年、サウ云フヤウニ段々ト伸ビテ行クモノナラバ、其幼稚ナル子供ノ時分ニハ、最モ強ク獎勵ヲスル、補助ヲスル、保護ヲスル、ソレガ大キクナルニ從ッテ多少其補助ノ程度ヲ少クスル、ソレデ一人歩キノ出來ルヤウニナッテ行ク、一人歩キノ出來ルヤウニナッテ來タ者ニマデ、子

供ニ對スルヤウナ補助ト云フモノハ要ラヌ、ソレハ當ヲ過ギタ保護ト云フコトニナルノデス、其時、其所、其事業ノ發達ノ程度ニ應ジテ、獎勵保護ト云フモノハ常ニ變ッテ來ル、是ガ私ハ保護ノ精神ダト思フノデアリマスガ、製鐵事業ニ於テモ亦然リデアリマス、製鐵事業ニ於テ、例ヘバ此間鐵鐵獎勵金ヲ廢シタ、廢シタカラ今倉元君ノ御考カラ言ヘバ飽棒ナコトダ、今日ノ製鐵國策カラ言ヘバ、逆行シテ居ルデヤナイカト御話ニナルカモ知レマセヌガ、ソレハ其時ニソレヲ撤シタカラト云ッテモ、サウ云フコトニナッテ居ナイノデス、今度ノ法律モ壯年ニナツタ一本歩キノ出來ルモノダケニ付テ、免稅ト云フ特典ヲ撤去シタダケナノデ、下方ノ少年デアルトカ幼稚ナ子供トカハ、一ツモ掛ッテ居ナイノデス、ソレデ鐵國策ニ據ガ入ルトカ云フコトハ考ヘラレナイノデス、片方ノ保護ヲスルモノハ保護ヲスル、併シ一人前ニナッテ伸ビ伸ビシタ者ニハ、ヤハリ國家ノ爲ニ少シ重荷ヲ背負ッテ下サイ、是デ私ハ世ノ中ガ持ッテ行クノダト思フノデス、サウ云フ風ニシナケレバ世ノ中ト云フモノハ持ッテ行ケルモノデハナイト考ヘテ居リマスガ、課税スルコトガ製鐵國策ニ一頓挫ヲ來スナドトハ、ドウモ私ハ實ノ所考

ヘテ居ナイノデス、一朝事有ル時分ニハドウスルカ、是ハ製鐵バカリデアリマスマイ、總テ國防問題ニ付テ皆考ヘナケレバナラスコトデアアル、是アルガ故ニ其目標トシテ鐵ニ付テハ自給ト云フコトヲ先ヅ製鐵國策ノ根本義トシテ居ル譯デス、是ハ一朝事有ル時ニ備ヘル所以デアリマス、デアリマスカラ貧鐵處理トカ、今日ニ於キマシテモ色々原鐵ナドヲ求メル方法ナンカモ考ヘナケレバナラズ、日本ニ貧鐵ガアレバ、貧鐵ヲ有利ニ處理スルヤウナコトモシナケレバナラナイト思フノデス、ソレガ一朝事有ル時分ニ備ヘル方法ダト思フノデス、不景氣ニナツタ折ニドウスルカ、斯ウ云フコトハドウ云フ意味カ存ジマセヌケレドモ、不景氣ニナツタ時分ニ更ニ稅ヲ課スルト云フコトハナイト思ヒマス、若シ儲ケガ少イナラ此規定ハ適用ガナイ譯デス、是ハ一割以上儲ケタモノノミニ當嵌マルノデアリマスカラ、不景氣ニナル時ニ更ニ酷イ目ニ遭ハスト云フコトハ、毛頭考ヘテ居ナイノデス

獎勵ヲスル、或ハ商工省ガ斯ウ云フ貿易ニ付テ助成金ヲヤルト云フヤウナ、サウ云フ有觸レタ一時的ナ見透シノ付ク、モウ三年カ五年カデ此事業ハ斯ウナルト云フ、何人ガ判斷シテモサウ考ヘルヤウナ普通一般有觸レタ獎勵助長ノモノトハ、根本カラ其精神ガ違フ、何ガ故ニ此國家ノ重大ナル義務ヲ、國家ガ製鐵事業ト云フモノニハ免除ヲシテ居ルカト云フ精神ヲ、大臣ハ能ク御考ニナラナケレバナラヌ、ソレヲ考ヘルニ唯儲カッテ居ルカラ之ニ課税スル、日本ノ製鐵事業ト云フ全體ヲ一括メニシテ綜合シテ、何處マデモ是ガ發達ヲシテ居ル、アナタノ仰シヤル人間ニ譬ヘレバト云フ話デアアルナラバ、滿二十歳ガ青年期デアラナラ、マダ半分ニモ行ッテ居ラスノダカラ、九歳十歳ニナルカナラヌカデアアル、私ハ何處マデモ援助シ助長シテヤラナケレバナラヌト考ヘル、又一朝有事ノ場合ニ處スルコトハ自給自足、其ノ爲ニ此國策ヲ行フノダ、ソレハ其通りデアリマスガ、戰爭ト云フモノハイツ何時起ルヤラ分ラヌ、先刻私ガ申上ゲマシタヤウニ、此議會ノ答辯振カラ言フト、何時サウ云フ好マシカラザル事態ガ發生スルカモ知レヌ、而シテ今ノ自給自足ノ状態ハドウカト云ヘバ、外國カラ原料ヲ一億

○倉元委員 儲カルモノニ對シテ課税ヲスルノダト云フコトヲ頻ニ仰シヤルノデスガ私ハサウ云フ一部分ノコトヲ捉ヘテ、アナタニ伺ッテ居ルノデヤナイ、普通一般ニ、例ヘバ農村ノ問題ニ付テ、農林省ガ斯ウ云フ

數千萬圓モ仰イデ居ルト云フ状態デアル、之ニ對スル處置ヲドウスルカ、當面ドレダケ製鐵ノ上ニ缺陷ヲ生ズルカ、需要ヲ充シ得ナイヤウナ状態ガ發生シタ場合ニ、ドウ云フ方法ヲ以テ之ヲ講ジテ行クカ、私ハ軍部大臣ニモ貧鐵ノコトヲ申上ゲタノデスガ、今大臣ノ御述ベニナリマシタコトモ、大分貧鐵ノコトニ重キヲ置カレテ居ルヤウデアリマス、是等ノ處置ニ付キマシテモ、ドウ云フ方法ヲ以テ是カラ進ム積リデアルカト云フコトヲ、具體的ニモウ少シ御答ヲ願ヒタイと思ヒマス

ソレカラ不景氣ノ時ハ、ソレハ事業ノ性質上課税シナイコトハ勿論デアリマス、今マデ國家ガ是ダケノ犠牲ヲ拂ッテ、此重大ナル義務ヲ免除シテ居ル位デアリマスカラ、不景氣ノ場合ニ課税ヲシナイト云フコトハ當然デアリマセウガ、熔鐵爐カラ煙ガ出ヌヤウニナツテ、殆ド事業ガ不景氣襲來ノ爲ニ思ハシクナイ、進行スルコトガ出來ナイヤウナ状態ニ陥ッタ場合ニハ、政府トシテドウ云フ風ニ之ヲ助ケテ行クカト云フヤウナコトモ、御考ノ中ニ御置キ下サル必要ガアラウト思フ、景氣ノ好イ時バカリ考ヘテ、景氣ノ悪い時ヲ考ヘナイト云フコトハ、私ハドウカト思フ

○小川國務大臣 一朝事アル場合ニ、日本

ノ鐵ガ十分ニナクチャナラヌト云フコトハ、倉元君ノ御話ノ通りデアリマス、ソレデアリマスカラ政府ハ早く自給自足ノ域ニ達スルコトヲ望ムデ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ法律ハ出シテ居リマスケレドモ、日本製鐵會社ノ如キ、此法ノ適用ヲ受ケマシテ、一番澤山ノ稅ヲ拂フモノダト思フ、ソレニモ拘ラズ熔鐵爐ヲ拵ヘマス計畫モ、或ハ九年デヤツテ居ルモノハ六年迄縮メテ、サウシテ速成ヲ期スルト云フコトデアツテ居ルノデアリマス、ソレデ日本製鐵會社モサウ云フ氣持ニナリ、私等モソレト相談シテ居ルノデス、此稅ハ掛ツテモ更ニ自給自足ノ域ニ達センガ爲ニハ、隨分努メテ進ンデ居ルノデアリマスカラシテ、ソレガアナタノ御考ト私ハ合ッテ居ルト思フノデス、サウ云フ風ニ今努メテ居ル譯デス、貧鐵處理ノ如キモ、例ヘバ朝鮮ノ茂山ノ處理ニ付キマシテモ、折角今研究シマシテ、何トカアレヲ巧ク使ッテ行キタイト、斯ウモ考ヘテ居ルノデス、ソレデ前モ申シマシタ通りニ各省ト皆連絡ヲ保チマシテ、今協議會ヲ開イテ居リマス、是ハ或ハ大キナ意味デノ委員會ニシタ方ガ、宜イノカモ知レマセヌケレドモ、サウセヌデモ海軍トカ陸軍トカ或

ハ拓務省トカ、皆關係省ノ專門家ト話ヲシテ居リマシテ、ソレデ鐵國策ヲ、若シ今迄ノヤリ方ニ違ヘルコトガ必要デアレバ、ソレモ敢テ辭セナイ、斯ウ云フコトデ自給自足ニ向ッテ、今邁進シテ居ル譯ナンデス、ソレヲ一ツ御諒承ヲ願ヒタイ

○倉元委員

商工大臣ノ御心持ハ能ク私拜察シマス、デスカラスウ云フ大キナ國策ノ問題ハ、一ツ成ベク議會式答辯デナク、アリノ儘ニ率直ニ私ハ御答ヲ願ッタ方ガ宜イト思フ、ト云フノハ大藏大臣ガ午前私ニ御答ニナリマシタ答辯ニ依リマス、アナタモ其處デ御聽キノヤウデアリマシタガ、大體ハ歲計ノ辻褄ヲ合セル爲ニ作ツタノダト云フ意味ノ御答辯ガアリマシタ、デスカラ是ハ前ノ内閣ガ斯ウ云フ風ニヤツテ、ドウモ已ムヲ得ズ事茲ニ至ッテ居ル、他ノ關係ガアツタダカラ、是ハ一旦ハ認メタガ、併シ今改メテ僕トシテハ此大國策ノ遂行ヲ爲ス上ニ於テハ、見直ス必要ガアラウト思フカラ、斯ウ云フヤウナ方針ヲ以テ、是カラ進ム積リデアリ、斯ウ云フ手段ヲ採ッテ居ル、斯ウ御聽カセ下サル方ガ、寧ロ議會トシテハ納得シ易イ譯デス、ソレヲドウモ是ハ儲カッテ居ルカラ課税ヲスルンダ、是ハドウシタト斯ウ仰シヤリマス、ドウモサウ云フ

小サナ枝葉末節ノ問題デ論ズベキ問題デハ

ナイト私共ハ考ヘル、恐ラク私ハ、商工大臣ノ方カラ進ンデ、俺ノ方ニ斯ウ云フ儲カル事業ガアルンダカラ、是等カラ税金ヲ取ッテ是ダケノ穴埋ヲヤレト斯ウ仰シヤッタノデハアルマイ、必ズ大藏省カラ、斯ウ云フモノガアルガ、之ヲ一ツ前ノ方ハ出サヌカ、斯ウ強ヒラレテ、結局已ムヲ得ズアナタモ御承認ニナツタモノト、斯ウ私共ハ今マデ思ッテ居ッタ、サウ仰シヤッタ方ガ綺麗デ宜シイ、サウ私共ハ思ッテ居ル、ソレトモウ一ツハ邪推ヲスレバ、前ノ町田商工大臣トノ行掛リモアリマス、アナタトシテハ先輩ニ對スル義理合ヒモアリマスカラ、色々ナ關係カラ斯ウ云フヤウナ經緯ニナツテ居ルト思ヒマスルガ、モウ長タラシク論ジテモ大體アナタノ御心持ハ能ク分リマシタ、ケレドモ申上ゲルヤウニ此原料ト云フモノガ、實際貸借ノ上ニ於テ一億數千萬圓モ入ッテ居ル現狀ハ、ドウシテモ自給自足ニ持ッテ行ッテ、此海外拂ト云フモノヲ無クスルコトガ、大衆ニ對スル、國民ノ利益デアリマス、ソレヲ一部ノ二百万圓位ノ課税ニ眼ヲ吳レテ、此大事ナ國策ノ遂行ヲ疑ハシメルト云フヤウナ、一ツノ手段ニ出ルト云フコトハ、甚ダ好マシカラヌコトデアリマス、斯ウ考ヘ

ル譯デアリマス、ドウカサウ云フ御考デ、速ニ此國策ノ見直シノ新政策、此自給自足ノ鐵鑛石カラ銑鐵一貫作業ニ依ル所ノ、此國策遂行ノ上ニ遺憾ナイ對策ヲ、次ノ通常議會迄ニ決メテ、御發表アランコトヲ希望シテ、私ノ質問ヲ止メマス

○小川國務大臣 折角努力シテ行ク積リデゴザイマス、倉元君ノ御希望ニ副ヒタイト考ヘマス

○金光委員長 本日ハ此程度ニ止メマシテ、明日ハ午前九時カラ續行致シマス、是ニテ散會

午後五時二十五分散會